

令和4年度 事業報告書

社会福祉法人 川福会

目 次

法 人	1
特別養護老人ホーム福寿苑	21
特別養護老人ホームみのわの里	31
特別養護老人ホーム布市福寿苑・真寿庵	45
介護老人保健施設枚岡の里	57
介護老人保健施設長田の里	61
ケアハウスひらおか	68
ケアハウス喜里川	71
小規模多機能ホームごりょうの家	76
介護老人保健施設すいれん	80
ケアフル布施	89
専門会議活動報告	90

令和3年7月に就任した新理事長により、法人経営方針の一部が転換され、下記の新方針に基づき、経営改善施策・業務改善施策を策定し、法人の収支・損益改善、利用者・職員処遇の改善、業務の標準化・効率化に尽力してまいりました。

旧方針	新方針
新規事業の開設等、事業規模を拡大することで経営改善を図る。	既存事業の充実を図り、既存事業の損益改善に注力することで経営改善を図る。
予算は決議されているため、その支出を執行すること。 支出を行うために収入を引き上げる。	支出は収入あつてのこと。 適正な収入予算を組み、その中で適正な支出を検討していく。
法人の機関、会議、職務を細分化し、その役割を明確にする。	役割は明確にするが、細分化せず、スリムな組織を形成する。

結果、令和3年度に引き続き、令和4年度の収支・損益は改善しました。

利用者処遇については、夕食提供時間の拡大や褥瘡予防、看取り支援の強化に尽力しました。

職員処遇については、賞与支給額が大きく改善したとともに、介護福祉士手当増額、令和4年10月16日付就業規則改定で年間休日を104日から110日としました。

利用者処遇に配慮しながら、職員の業務負担の軽減を行い、各施設の業務内容の統一、効率化、標準化を推進しました。

令和4年度の計画実行状況について総括し、令和5年度につなげるための課題を的確に抽出する必要があるため、本事業報告は、下記の内容で構成しております。

法人事業報告書	令和4年度事業計画の実施状況 【付表】①稼働率一覧 ②地域の公益的な取り組み ③研修一覧
各拠点事業報告書	【1】施設運営を振り返って 【2】数値目標と実績 【3】事業計画の実施状況 【4】施設の課題 【付表】行事・防災訓練・研修一覧
専門会議活動報告書	【1】令和4年度総括 【2】検討内容

1. ガバナンスのさらなる強化

(1) 法人の組織改編

実施状況	<p>組織改編を実施し、組織のスリム化を推進しました。</p> <p>【部門の廃止】 運営統括部の機能を管理統括部に併合したうえで、運営統括部を廃止</p> <p>【会議・委員会の廃止】 ・次長課長会議 ・人事制度設計会議 ・広報委員会 ・地域共生会議 ・人財採用育成会議 ・倫理委員会 ・法人安全衛生委員会（各施設有） 協議の必要性がある場合はプロジェクト的に開催する等、柔軟な対応を行いました。</p> <p>【部門の設置】 ・カスタマーハラスメント相談窓口 ・虐待相談窓口の設置</p>
------	---

(2) 内部監査の実施、是正、ありかたの再検討

実施状況	<p>ガバナンスの強化とコンプライアンスの徹底など業務効率化や適性化を目的として、自主点検表等に対する根拠資料の確認等により、市町村の運営指導に近い方法で状況確認を行い、人員の配置状況や加算取得の適正等の判断を実施し各施設運営の支援を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 5月 みのわの里 通所介護・認知症対応型通所介護・訪問介護・訪問入浴・ 6月 みのわの里 介護老人福祉施設（短期入所生活介護）・介護予防支援 居宅介護支援事業所・ 11月 ケアハウスひらおか・ 3月 布市福寿苑 介護老人福祉施設（短期入所生活介護）・介護予防支援 グループホーム
令和5年度への課題	<p>令和4年度に引き続き、加算要件が満たされているか等、介護報酬の適正請求について確認するとともに、勤怠管理や労務管理状況の確認等により、施設の労働環境改善へ繋げて行けるよう実施します。</p> <p>また、現行の監査実施内容について有用性を検証し、実施方法や頻度等についても検討を行います。</p>

(3) 組織風土診断の実施と改善

実施状況	新たな組織風土診断の受審は、未実施となりましたが、職員倫理綱領と職員倫理規程を改定し、職員倫理観の向上に取り組む方針を示しました。
令和5年度への課題	今後、組織風土診断受審を行うことは保留とし、法人で新たに策定した虐待防止指針やカスタマーハラスメント行動指針、改定した職員倫理綱領、職員倫理規程職員、ハラスメント防止方針及び防止規程を周知し、法人が各施設の不適切介護の実態把握を行いつつ、虐待防止のための施策の進捗管理を適切に行うことで組織風土の改善に尽力します。

(4) 会計監査人指摘事項の対応

実施状況	会計監査人監査は、令和4年4月22日、5月16日、5月20日、5月21日、10月7日、11月1日、12月1日、令和5年1月13日、2月10日、3月17日に実施されました。 主な指摘事項は以下のとおり、全て対応済みとなっております。 ・令和3年度末の賞与引当金が結果的に引当超過となっているので、今後は慎重に計上すること。 ・今期に返済を受ける貸付金は本来、一年以内回収予定長期貸付金から減少するはずであるが、長期貸付金から減少しているものがあるので今後、気を付けること。 ・電話交換機設備を購入し、3,245,000円にて器具備品に計上しているが、内訳では3,245,000円のうち220,000円は、旧機器撤去費であるため本来、220,000円は固定資産に計上せず、固定資産除却損とするのが、正しい処理である。 ・その他、科目修正など。
令和5年度への課題	法人のガバナンスを確保するために内部管理体制を構築するとともに、収支状況、経営成績及び財政状態を把握・公表するために適切な会計処理と適正な計算書類等の作成を行うことが必要であり、独立の立場である会計監査人による監査を受け、継続的に対応・改善します。

(5) ルール・仕組みの運用実態把握及び再検討

実施状況	法人のルール・仕組みについて運用実態を把握し、改善の必要がありました以下の規則、規程等を新設、改定しました。 【新設】 ・現金事務取扱要領 ・カスタマーハラスメント行動指針 ・虐待防止指針 【改定】 ・定款 ・定款細則 ・評議員選任・解任委員会に関する細則
------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・組織運営規程 ・就業規則（嘱託・パート・登録ヘルパー含） ・給与規程 ・職員倫理規程 ・個人情報保護規程 ・公益通報規程 ・経理規程 ・育児介護休業等に関する規程 ・ハラスメント防止規程 ・テレワーク勤務規程 ・専門会議職種別連絡会運営に関する細則 ・資格取得報奨金規程 ・懲戒手続規程
令和5年度への課題	組織としての規律、ルールが適正に運用されているか、その規律、ルールにそって手続きや労務管理等が適正に行われているか、定期的の実態把握を継続し、見直すべきものがあれば、その改善に取り組みます。

2. 経営基盤の安定

(1) 事業統合と加算取得による収入改善

実施状況	<p>令和4年5月にケアフル布施居宅介護支援事業所を長田の里居宅介護支援事業所に統合し、特定事業所加算Ⅱを取得しました。</p> <p>また、訪問介護事業について、4か所（福寿苑・みのわの里・布市福寿苑・ケアフル布施）の事業統合を検討し、令和5年4月にみのわの里ヘルパーステーションに統合する計画を策定して、その準備を進めました。</p> <p>また、以下のとおり新たな加算取得もしております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡マネジメント加算Ⅱ（枚岡の里） ・個別機能訓練加算Ⅰ・Ⅱ・機能訓練加算（布市福寿苑） ・科学的介護推進体制加算Ⅰ（布市福寿苑） ・口腔衛生管理加算Ⅱ（長田の里） ・安全対策体制加算（みのわの里・布市福寿苑） ・個別機能訓練加算Ⅰ・運動器機能向上加算（喜里川デイ） ・口腔・栄養スクリーニング加算Ⅰ（布市福寿苑デイ） ・サービス提供体制加算Ⅱ→Ⅰ（長田の里デイ・みのわの里認デイ） ・サービス提供体制加算Ⅲ→Ⅱ（長田の里） ・介護職員等ベースアップ等支援加算（対象事業）
令和5年度への課題	<p>令和5年度も引き続き加算取得を検討していきます。</p> <p>特に、各事業における科学的介護推進体制加算を取得できるよう、工夫を行います。</p> <p>また、訪問介護が統合されたことにより、福寿苑・みのわの里・布市福寿苑で算定できていた特定事業所加算が現状算定できていないため、令和5年7月の再取得にむけ、登録ヘルパーとの連携等について体制を整備します。</p>

(2) 経費削減による支出の改善

実施状況	<p>経費削減施策について実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道料金削減（節水機使用） ・寝具の契約変更 ・紙おむつ・バットの商品統一及び廃棄業者の変更 ・排泄用清拭タオルをリースからディスポ清拭に変更 ・モップ、フロアマットの商品統一 ・給食委託会社管理費削減 ・保守契約の内容見直し及び契約相手方の変更 <p>令和4年度経費率は25.8%（令和3年度経費率は26.6%）となりました。</p>
令和5年度への課題	<p>令和5年度は、電気・ガスなどの燃料費の高騰により、支出が増える見込みのため、引き続き経費の削減策を立案し実施します。</p> <p>対応としては下記を検討中です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・預金口座の統廃合 ・施設の清掃業務委託内容の見直し ・PCサポート、コピー機、電気保安、空調、消防設備の契約見直し

3. 地域共生社会の実現に向けて

(1) 地域のニーズの把握

実施状況	<p>コロナ禍において、地域のニーズ発掘するためのアンケート調査の実施や地域住民との座談会など開催することができず、地元自治会定例会参加や地域密着型サービス事業所の運営推進会議を通じてニーズ把握に努めましたが、情報が少なく十分な把握までには至りませんでした。</p>
令和5年度への課題	<p>地域の自治会やサロン、介護予防教室等を通じて、地域ニーズの実態把握を行うとともに、社会福祉協議会等の関係機関との意見交換や多職種連携会議等を通じて新たな地域のニーズ把握に努めます。</p>

(2) 認知症の方への地域共生のありかたの検討

実施状況	<p>主に地域包括支援センターによる開催となりますが、地域の方の向け11回の認知症サポーター養成講座のうち4回（福寿苑・布市福寿苑）は地元の小・中学校にて小・中学生対象に開催し、地元の公民館や集会所にて14回の認知症カフェやサロンを開催しました。（付表②）</p> <p>また、キャラバンメイトの職員の地域の交流会に参加し認知症支援の取り組みについて情報交換を実施しました。</p>
令和5年度への課題	<p>地域の方の認知症サポーターの養成を推進や、認知症の方が地域で安心して生活するための情報提供や相談支援体制を充実させるとともに、地域の社会資源としての役割を果たしていくための施策を検討します。</p>

(3) 地域公益活動の評価

実施状況	法人では、地域サロン等の居場所づくりや地域住民との交流会、施設機能の開放等が、コロナ禍において制限される中、各事業所において付表②の一覧表にある地域公益活動を実施しました。
令和5年度への課題	これまで実施してきた地域公益活動の評価、改善検討を行いつつ、地域の方の意見を聞く場を創設し、新たなニーズがあれば、その対応を検討し、地域に貢献する活動をより充実させていきたいと考えています。

4. 職員の働き方改革と育成

(1) 適正労務管理の理解促進、実態把握とその是正

実施状況	法人では、適正な労務管理について、施設長・運営部長に対し会議の場をとおして指示、指導を行い理解促進に取り組みました。 また、内部監査において、適正な労務管理が行えているか確認し、実態把握とその是正について指導を行いました。
令和5年度への課題	法人としては、管理職が適正な労務管理ができているか内部監査などで適宜確認し、必要に応じて指導等を行います。 また、労働法務についてもさらに理解を深める必要があると考えており、令和5年度において、管理職を対象に研修を実施します。

(2) 各施設の時間軸の統一及び業務改善

実施状況	特養、老健については、1日における食事時間、おむつ交換の時間を統一し、利用者処遇の向上を図りました。 また、各事業日誌を廃止し、業務削減、ペーパーレス化を推進しました。 法人の組織改編による法人委員会や会議の廃止に伴い、各施設の委員会や会議も廃止しました。 【会議・委員会の廃止】 ・研修委員会 ・広報委員会 ・美化委員会 ・新人担当者会議 ・レクリエーション委員会 ・行事委員会 ・職種別会議 ・在宅ミーティング ・内部調整会議 ・マニュアル委員会 ・人財育成委員会 等
------	--

(3) 職員勤務の標準化と事業所間格差の解消

実施状況	各施設状況から、施設が希望する職員の勤務形態を増やし続けた結果、その形態が19と多くの形態となっているため、その形態を整理する予定でしたが、令和4年度では実施できませんでした。
------	--

令和5年度 への課題	小規模多機能型居宅介護は柔軟な勤務形態が必要と考えますが、特養・老健の時間軸統一の検証を行いつつ、令和5年度には多様すぎる勤務形態を整理していきます。
---------------	---

(4) 職員採用のありかたの再検討

実施状況	中途採用については年齢制限のない有資格者の採用、一方でキャリア形成を目的とした職員の採用を行うため年齢制限を設けるなど検討し、施設ごとで作成していたハローワークの求人票を職種ごと(介護士・看護師・夜勤専従パート)に統一した求人票サンプルを法人で作成しました。
令和5年度 への課題	令和5年度では、更なる工夫を凝らして人員配置のバランスをとるとともに、採用活動を強化していきます。 対応策として下記を検討していきます。 ・労務管理システムによる総労働時間の毎月確認(人員配置指標確立) ・夜勤専従パート職員の募集強化 ・通所介護職員の人材の流動化対応 ・ホームページの求人情報を整理(法人採用・各施設採用の整理) ・各施設の近隣施設(郵便局、商業施設)への求人チラシ設置

5. BPR計画の推進

(1) 電子データの標準化

実施状況	各事業において、書類の保存方法が、事業所毎、個人毎に異なり、また、データ保存されている書類が事業所毎、個人毎の認識で紙保存されていたため、各事業の書類保存方法を法人で統一、ペーパーレスを推進し、地域包括支援センター・居宅介護支援事業所で統一を行いました。 また、各施設、各事業において介護記録システムの活用の進捗に違いがあり、そのソフトの能力を活かしきれていないため介護記録システムへの入力をさらに推進し、日誌や2重記録を無くすことに尽力しました。 また、居宅介護支援・介護予防支援事業所では、提供票等の対外事業所へのメール対応転換を行い、対応可の対外事業所に対し、実施しました。
令和5年度 への課題	施設により介護記録システムの運用に差があるため、記録のシステム完全移行にむけての課題抽出、検証の必要があります。 また、国民健康保険中央会のケアブランデータ連携システムの活用に向けた準備を行います。 電子データの標準化による情報セキュリティの再検討を行います。

(2) 業務フローの標準化及び手順書の作成

実施状況	<p>特養・老健の施設サービスの1日の時間軸を統一し利用者処遇の向上と業務効率化を図りました。</p> <p>また、各施設の業務や手続きについて統一を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員代表の選出方法の一部変更及び様式の統一 ・各施設の現金事務の取り扱いについて統一 ・運行記録の統一 ・在留資格保有者の情報確認様式の統一 ・給与エクセル台帳の統一 ・退職手続きのフロー及び様式の統一
令和5年度への課題	<p>令和5年度も引き続き、対応を継続します。</p> <p>対応策として、下記を検討しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録方法に職員差異がでないように、記録要領を策定し可視化 ・看取り支援後の対応検証会議実施（職員へのケアを含む） ・実習生指導者用マニュアルの策定・改定 ・ボランティア規約・ボランティア受入マニュアルの改定 等

(3) PCログ等の勤務実態のありかた検討

実施状況	<p>テレワークについては、働き方改革の一部として導入、コロナ禍において推進をしてまいりましたが、労働時間の管理の手段については、テレワーク勤務規程の手順にそって実施しております。</p> <p>また、テレワークのみならず、通常勤務においてもPCログ等の管理は必要と考え検討しましたが、ログ管理システムの導入コストや管理する事務量の増加などの課題があり実施には至りませんでした。</p>
令和5年度への課題	<p>今後はPCログ等の勤務実態のありかた検討は保留とし、労務管理システム及び勤務時間の毎月労使合意の仕組みを活用することで、職員の勤怠について、適正な労務管理を行います。</p>

6. 感染症対策及び災害対策

(1) 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン見直し

実施状況	<p>ガイドラインの見直しは未実施となりましたが、クラスター発生施設においては、所轄保健所か大阪府健康医療部保健医療室による指導を受け感染予防策の見直しを実施しました。</p> <p>法人では、新型コロナ対策を、感染状況の変化に応じて随時更新し感染拡大防止に努めました。</p> <p>感染拡大の経験をもとに、枚岡の里・長田の里・すいれんでは、「感染症対応BCP」の見直しを行いました。</p>
------	---

令和5年度への課題	これまでの経験を活かし、感染症対応BCPの見直しを行い、感染症対応BCPの周知や介護報酬改定により義務化された委員会の開催、研修、訓練（シミュレーション）を実施しなければならない。
-----------	--

(2) 災害対応BCPの見直し

実施状況	災害対応BCPについては、出勤率に応じた業務内容の見直し、土砂災害を想定した見直し等一部の施設（長田の里・枚岡の里・ごりょうの家）で見直しを行いました。
令和5年度への課題	災害対応BCPについては、施設の立地から災害種別を選定し、また利用者や職員が施設外にいるときに災害が起こった場合等、その災害場面を複数方向から検証し、よりよいBCPを作成する必要があります。 また、策定されたBCPの周知や介護報酬改定により義務化された研修の実施、防災訓練（シミュレーション）を実施していく必要があります。

(3) 市町村等関係機関及び地域自主防災組織との連携検討

実施状況	新型コロナ感染症の影響によりほとんどの施設で未実施となる中、地域の消防署との防災訓練を一部施設（福寿苑・布市福寿苑・長田の里）で実施しました。 布市福寿苑では、消防署と地域住民の参加のもと実施しております。 ごりょうの家では、地域の消防団と防災訓練協力の検討を行いました。
令和5年度への課題	自然災害対策として、平時より市町村等関係機関及び地域の自主防災組織と連携を検討し、地域防災計画及びハザードマップ、災害対応BCP等に基づいた効果的な防災訓練を、全施設で実施する必要があります。

7. 新・続3か年計画からの継続計画

(1) 第三者評価受審無し施設の自己評価実施

実施状況	第三者評価受審無し施設の自己評価は実施できませんでしたが、第三者評価指摘事項改善の協議及び改善策の立案について着手しました。
令和5年度への課題	令和5年度は第三者評価を受審していない施設の自己評価は保留とし、次項に記載の対応にて、各施設の運営管理や利用者処遇の改善を行い、その施策を実施したうえで自己評価を適宜行います。

(2) 第三者評価指摘事項改善の実施及びその効果検証

実施状況	過去の特養3施設が受審した第三者評価の結果の指摘事項の改善策検討については、令和4年度に受審した布市福寿苑の受審結果を加えて、そ
------	--

	<p>それぞれの施設における評価項目 b 評価について 13 項目の検証を行い、改善策を策定しました。</p> <p>改善策の対応については、すべての施設に水平展開するとともに、法人として各施設の改善を確認するため進捗管理表を作成しました。</p>
令和 5 年度への課題	引き続き、各施設の評価項目 b 評価（約 20 項目）を主に検証し、改善策の策定、各施設への水平展開を継続します。

（3）すべての職種への人事考課の実施

実施状況	<p>令和 5 年度からすべての職種において人事考課を開始できるよう新たに人事考課未実施となっていた職種の人事考課シートとその評価基準を検討し、人事考課シートを作成しました。</p> <p>すべての職種において令和 5 年度から人事考課を開始しました。</p>
令和 5 年度への課題	<p>現在の人事考課において、下記の課題整理を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ助成金による通所と施設の実績（収支）の相違 ・ 人事考課の有利不利が考えられる事業・職務 ・ 考課者の負担・能力問題 ・ 実績素点等の区分の根本検討が必要 <p>令和 5 年度も引き続き、人事考課のよりよい制度設計を検討します。</p>

社会福祉法人 川福会 令和4年度 各事業 稼働率一覧表

拠点区分	サービス区分	定員	年度	項目	稼働日数	稼働率 平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考 (特色別稼働率)				
福井県	特別養護老人ホーム 00	04年度	毎月稼働率	95.0 %	85.7	95.8	94.2	95.7	97.5	95.2	96.8	94.7	95.2	96.8	94.7	95.2	94.9	93.8	92.7				
			平均稼働率	95.0 %	85.7	95.7	95.2	95.3	95.6	95.7	95.8	95.7	95.1	95.7	95.3	95.7	95.3	95.6	95.4	95.2			
			03年度	毎月稼働率	95.0 %	84.3	98.0	95.3	94.4	95.3	97.3	97.1	96.3	91.6	96.0	93.7	97.1	96.3	91.6	96.0	93.7		
				平均稼働率	95.0 %	84.3	96.7	95.9	96.0	95.7	95.6	95.9	96.1	96.1	95.6	95.9	96.1	96.1	95.6	95.7	95.7		
				02年度	毎月稼働率	93.0 %	90.3	90.0	89.8	89.2	76.3	85.3	91.7	97.2	94.6	97.7	97.2	94.6	97.7	97.4	97.4		
				平均稼働率	93.0 %	90.3	90.0	89.8	89.5	87.3	87.6	87.0	88.7	89.5	80.2	89.5	87.0	88.7	89.5	80.2	89.5		
		04年度		毎月稼働率	95.0 %	93.3	95.2	119.0	118.1	94.2	103.2	102.7	101.4	98.9	99.8	102.7	101.4	98.9	99.8	102.7	101.4		
				平均稼働率	95.0 %	93.3	94.3	94.3	94.3	104.3	103.9	104.0	103.9	103.9	103.9	103.9	103.9	103.9	103.9	103.9	103.9		
		認知症患者生活介護 4	03年度	毎月稼働率	99.0 %	91.7	97.1	102.3	102.2	102.2	102.2	114.2	73.1	80.6	93.3	105.0	80.2	104.8	105.0	80.2	104.8		
				平均稼働率	99.0 %	91.7	94.3	91.9	89.8	94.2	91.9	97.9	95.8	96.5	94.9	96.5	94.9	96.5	94.9	96.5	94.9		
				02年度	毎月稼働率	95.0 %	110.8	122.6	144.2	157.3	148.4	45.8	33.1	195.8	89.3	118.1	100.9	81.5	100.9	81.5	100.9	81.5	
					平均稼働率	95.0 %	110.8	116.8	125.9	133.8	128.6	131.9	109.0	106.6	106.9	107.4	106.9	104.7	106.9	104.7	106.9	104.7	
	04年度		毎月稼働率	70.0 %	53.2	52.2	54.0	58.3	59.6	82.2	54.3	55.1	50.1	58.7	59.9	80.9	53.2	72.0	71.8	71.8			
			平均稼働率	70.0 %	53.2	52.7	54.0	55.2	55.1	57.1	56.1	57.1	50.1	58.7	59.9	80.9	53.2	72.0	71.8	71.8			
			03年度	毎月稼働率	77.0 %	95.1	98.7	86.2	88.4	61.4	84.3	63.4	82.2	57.2	53.0	49.2	49.2	59.7	49.2	59.7	49.2		
				平均稼働率	77.0 %	95.1	90.7	91.2	90.0	91.5	60.3	60.7	60.3	60.3	60.3	60.3	60.3	60.3	60.3	60.3	60.3		
	認知症対応型通所介護 10	02年度	毎月稼働率	77.0 %	83.5	99.4	85.1	65.8	94.0	44.0	54.7	55.7	62.3	81.5	80.3	62.4	80.3	81.5	80.3	62.4			
			平均稼働率	77.0 %	83.5	90.9	82.3	63.2	83.2	82.6	62.6	62.6	61.7	61.7	61.7	61.7	61.7	61.7	61.7	61.7			
		04年度	毎月稼働率	65.0 %	70.4	61.5	56.9	54.2	51.1	59.2	61.2	55.0	51.9	53.3	60.8	61.2	55.0	51.9	53.3	60.8	61.2		
			平均稼働率	65.0 %	70.4	65.0	61.0	60.7	58.7	58.8	59.1	58.0	57.3	57.3	57.3	57.3	57.3	57.3	57.3	57.3	57.3		
訪問介護 1	03年度	毎月稼働率	73.0 %	46.6	55.0	48.1	56.3	54.6	56.2	59.7	67.7	69.8	61.9	62.9	58.1	62.9	61.9	62.9	58.1				
		平均稼働率	73.0 %	46.6	52.3	50.9	52.3	52.7	53.3	54.2	55.8	57.3	57.8	57.8	57.8	57.8	57.8	57.8	57.8				
		02年度	毎月稼働率	71.0 %	61.2	99.2	88.1	63.9	88.4	40.0	33.2	36.8	33.3	32.5	35.4	49.9	32.5	35.4	49.9	32.5			
			平均稼働率	71.0 %	61.2	90.2	59.5	60.4	59.4	59.9	59.4	59.4	59.4	59.4	59.4	59.4	59.4	59.4	59.4	59.4			
	04年度	毎月稼働率	9.3 件	9.8	10.8	9.5	9.4	9.6	10.0	9.4	10.5	10.2	9.5	9.1	8.7	10.2	9.5	9.1	8.7				
		平均稼働率	9.3 件	9.8	10.2	10.0	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8			
		03年度	毎月稼働率	14.0 件	8.0	8.0	8.1	8.8	19.0	10.2	10.0	10.8	11.8	11.5	10.8	10.8	11.5	10.8	10.8	10.8			
			平均稼働率	14.0 件	8.0	8.0	8.1	8.8	8.0	9.2	9.3	9.5	9.8	9.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9			
02年度	毎月稼働率	14.0 件	11.1	8.6	7.8	7.4	7.2	6.0	7.4	7.8	7.8	7.9	7.8	7.8	7.8	7.9	7.8	7.8	7.8				
	平均稼働率	14.0 件	11.1	10.0	9.2	8.7	8.5	8.4	8.2	8.3	8.2	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1				
	04年度	毎月稼働率	38.0 件	37.6	37.4	38.3	37.2	38.5	38.5	31.8	31.8	31.8	35.9	35.8	38.1	31.8	35.9	35.8	38.1				
		平均稼働率	38.0 件	37.6	37.4	38.3	37.2	38.5	38.5	31.8	31.8	31.8	35.9	35.8	38.1	31.8	35.9	35.8	38.1				
障害介護支援事業所 1	03年度	毎月稼働率	39.0 件	37.4	37.8	38.4	38.1	38.0	38.1	37.1	36.2	36.1	36.2	36.2	36.2	36.2	36.2	36.2	36.2				
		平均稼働率	39.0 件	37.4	37.8	38.4	38.1	38.0	38.1	37.1	36.2	36.1	36.2	36.2	36.2	36.2	36.2	36.2	36.2				
	02年度	毎月稼働率	38.0 件	38.9	40.1	39.9	41.6	40.1	40.3	40.1	40.9	41.0	40.9	40.7	40.7	40.9	41.0	40.9	40.7	40.7			
		平均稼働率	38.0 件	38.9	39.5	39.8	40.1	40.1	40.3	40.1	40.3	40.1	40.3	40.1	40.3	40.1	40.3	40.1	40.3	40.1			

調査区分	サービス区分	定員	年度	項目	年間目標	達成率 平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
みのりの里	特別支援老人ホーム	110	R4年度	稼働率	稼働率	85.0 %	93.0	95.6	96.6	93.7	94.3	92.7	94.9	95.7	96.9	94.1	97.3	94.1				
			平均稼働率		85.0 %	93.0	95.6	96.6	94.3	94.0	94.1	94.3	94.6	94.6	94.6	94.6	94.6	94.6	94.6	94.6		
		R3年度	稼働率		85.0 %	92.0	95.9	97.6	96.9	97.2	98.0	94.7	94.9	98.6	93.6	93.2	93.4	92.7	93.7	93.7	93.8	
		平均稼働率	85.0 %		92.0	95.9	97.6	96.9	97.2	98.0	94.7	94.9	98.6	93.6	93.2	93.4	92.7	93.7	93.7	93.7	93.8	
		R2年度	稼働率		85.5 %	93.4	95.2	97.7	97.4	94.8	96.0	92.5	94.8	93.3	91.6	92.3	91.6	92.3	91.6	92.3	91.6	91.4
		平均稼働率	85.5 %		93.4	95.2	97.7	97.4	94.8	96.0	92.5	94.8	93.3	91.6	92.3	91.6	92.3	91.6	92.3	91.6	91.4	91.4
	地域入居生活介護	20	R4年度	稼働率	稼働率	85.0 %	95.0	97.3	96.7	92.9	92.4	90.7	84.9	101.5	89.7	77.3	99.8	91.1	89.2	89.2		
			平均稼働率		85.0 %	95.0	97.3	96.7	92.9	92.4	90.7	84.9	101.5	89.7	77.3	99.8	91.1	89.2	89.2	89.2	89.2	
		R3年度	稼働率		86.0 %	71.3	84.0	78.3	81.6	80.6	86.7	88.9	93.3	84.4	88.7	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0
		平均稼働率	86.0 %		71.3	84.0	78.3	81.6	80.6	86.7	88.9	93.3	84.4	88.7	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0
		R2年度	稼働率		86.0 %	85.3	88.8	88.7	88.2	79.0	80.5	85.7	89.8	76.8	85.5	93.7	94.8	94.8	94.8	94.8	94.8	94.8
		平均稼働率	86.0 %		85.3	88.8	88.7	88.2	79.0	80.5	85.7	89.8	76.8	85.5	93.7	94.8	94.8	94.8	94.8	94.8	94.8	94.8
通所介護	29	R4年度	稼働率	稼働率	82.0 %	79.1	76.2	80.7	79.5	76.2	73.6	76.5	76.5	76.5	76.5	76.5	76.5	76.5	76.5	76.5		
		平均稼働率		82.0 %	79.1	76.2	80.7	79.5	76.2	73.6	76.5	76.5	76.5	76.5	76.5	76.5	76.5	76.5	76.5	76.5	76.5	
	R3年度	稼働率		85.0 %	72.1	85.6	70.4	75.3	77.4	86.4	87.0	80.8	85.8	77.5	72.5	74.7	74.7	74.7	74.7	74.7	74.7	
	平均稼働率	85.0 %		72.1	85.6	70.4	75.3	77.4	86.4	87.0	80.8	85.8	77.5	72.5	74.7	74.7	74.7	74.7	74.7	74.7	74.7	
	R2年度	稼働率		85.0 %	72.6	71.1	81.1	84.0	82.4	82.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	
	平均稼働率	85.0 %		72.6	71.1	81.1	84.0	82.4	82.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	
みのりの里	認知症対応型通所介護	12	R4年度	稼働率	稼働率	87.0 %	64.1	59.0	58.0	63.6	67.3	84.1	59.0	51.3	42.3	48.2	63.1	53.1	54.3			
			平均稼働率		87.0 %	64.1	59.0	58.0	63.6	67.3	84.1	59.0	51.3	42.3	48.2	63.1	53.1	54.3	54.3	54.3	54.3	
		R3年度	稼働率		85.0 %	63.3	86.7	80.3	94.5	84.4	83.5	70.2	71.8	88.3	88.3	88.3	88.3	88.3	88.3	88.3	88.3	
		平均稼働率	85.0 %		63.3	86.7	80.3	94.5	84.4	83.5	70.2	71.8	88.3	88.3	88.3	88.3	88.3	88.3	88.3	88.3	88.3	
		R2年度	稼働率		75.0 %	63.3	85.4	83.6	81.7	82.2	82.4	83.8	84.8	85.0	84.5	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	
		平均稼働率	75.0 %		63.3	85.4	83.6	81.7	82.2	82.4	83.8	84.8	85.0	84.5	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	
	訪問介護	—	R4年度	1日あたり	稼働率	15.0 件	15.8	16.2	16.2	16.3	16.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	
			平均稼働率		15.0 件	15.8	16.2	16.2	16.3	16.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1
		R3年度	稼働率		15.0 件	13.2	15.1	14.0	14.1	13.8	14.5	14.8	14.9	14.9	14.9	14.9	14.9	14.9	14.9	14.9	14.9	
		平均稼働率	15.0 件		13.2	15.1	14.0	14.1	13.8	14.5	14.8	14.9	14.9	14.9	14.9	14.9	14.9	14.9	14.9	14.9	14.9	
		R2年度	稼働率		15.0 件	13.3	15.1	14.2	14.2	13.5	13.7	13.5	13.7	13.5	13.7	13.5	13.7	13.5	13.7	13.5	13.7	
		平均稼働率	15.0 件		13.3	15.1	14.2	14.2	13.5	13.7	13.5	13.7	13.5	13.7	13.5	13.7	13.5	13.7	13.5	13.7	13.5	
居宅介護支援事業所	—	R4年度	1日あたり	稼働率	20.0 件	26.4	26.5	26.5	26.4	26.7	26.7	26.5	26.5	26.7	26.2	26.2	26.2	26.2	26.2	26.2		
		平均稼働率		20.0 件	26.4	26.5	26.5	26.4	26.7	26.7	26.5	26.5	26.7	26.2	26.2	26.2	26.2	26.2	26.2	26.2	26.2	
	R3年度	稼働率		20.0 件	34.3	35.3	35.6	32.2	30.3	40.5	38.8	30.1	37.5	37.4	36.2	36.2	36.2	36.2	36.2	36.2		
	平均稼働率	20.0 件		34.3	35.3	35.6	32.2	30.3	40.5	38.8	30.1	37.5	37.4	36.2	36.2	36.2	36.2	36.2	36.2	36.2		
	R2年度	稼働率		20.0 件	30.1	37.7	40.0	49.5	39.6	37.2	37.8	37.8	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2		
	平均稼働率	20.0 件		30.1	37.7	40.0	49.5	39.6	37.2	37.8	37.8	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2		
訪問入浴	—	R4年度	1日あたり	稼働率	3.0 件	3.8	3.2	3.5	3.5	3.7	2.6	3.0	2.9	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1		
		平均稼働率		3.0 件	3.8	3.2	3.5	3.5	3.7	2.6	3.0	2.9	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1		
	R3年度	稼働率		3.5 件	2.7	2.8	2.3	2.6	3.2	2.9	2.8	2.7	2.8	2.7	2.8	2.7	2.8	2.7	2.8	2.8		
	平均稼働率	3.5 件		2.7	2.8	2.3	2.6	3.2	2.9	2.8	2.7	2.8	2.7	2.8	2.7	2.8	2.7	2.8	2.8	2.8		
	R2年度	稼働率		2.0 件	2.3	2.0	2.3	2.5	2.6	2.8	2.9	2.7	2.8	2.9	2.7	2.8	2.9	2.7	2.8	2.8		
	平均稼働率	2.0 件		2.3	2.0	2.3	2.5	2.6	2.8	2.9	2.7	2.8	2.9	2.7	2.8	2.9	2.7	2.8	2.8	2.8		

備考
(黄色斜線付部分)

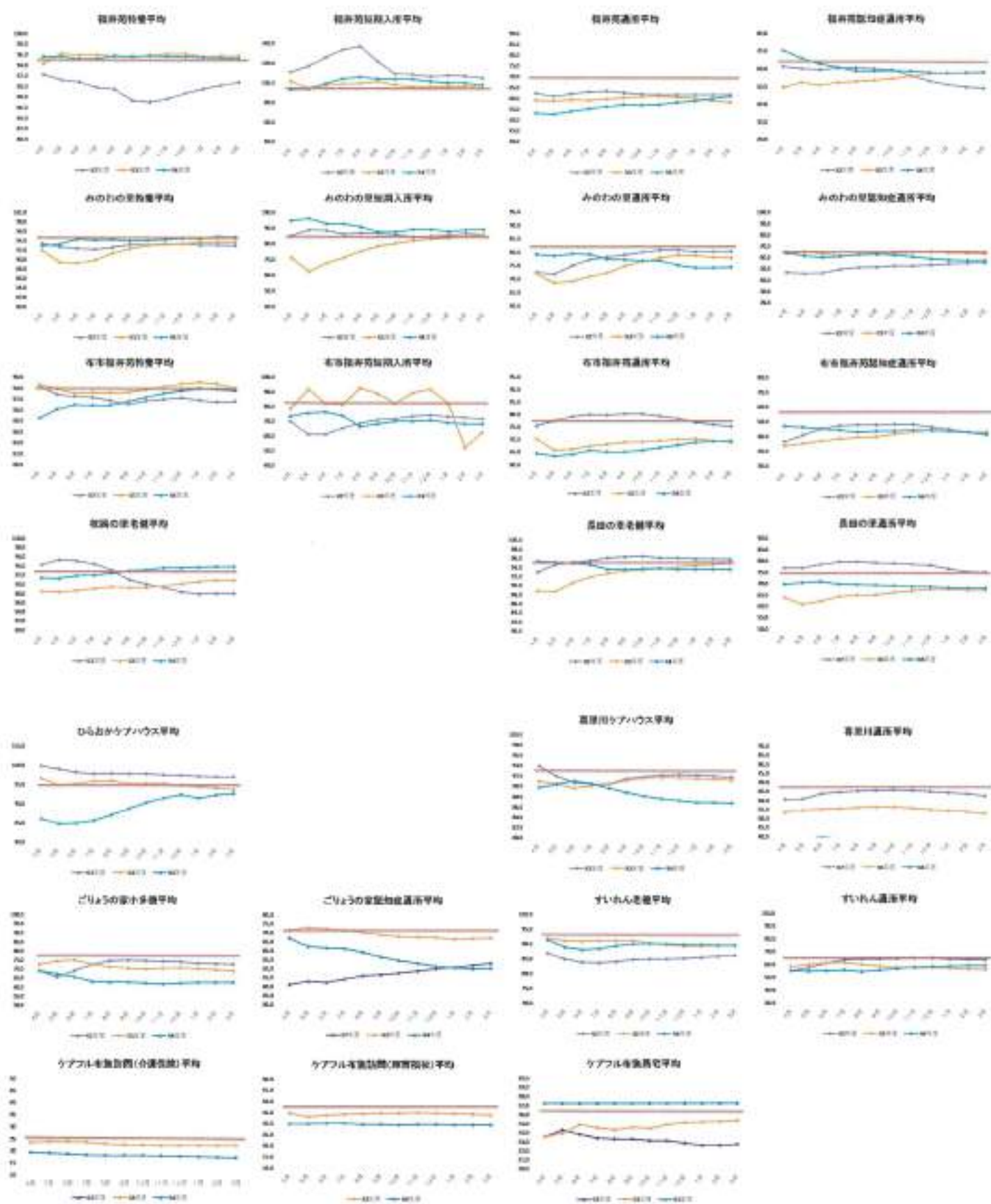
拠点区分	サービス区分	定員	年度	項目	年間目標	毎月 平均	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考 (黄色明細は付属分)		
							6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
新市庁舎共	特別管理老人ホーム	R4年度	94.0%	稼働率	85.5	91.7	92.5	80.8	92.9	95.0	86.5	88.5	97.4	87.8	82.2	91.0			
			80	稼働率	86.5	98.1	90.8	80.9	90.9	91.6	82.3	93.0	93.0	93.0	93.0	94.0	93.8		
		R3年度	93.0%	稼働率	84.7	92.2	91.2	82.5	92.3	90.9	90.9	86.5	87.5	99.2	87.5	87.5	84.6		
			80	稼働率	84.7	93.0	93.1	82.2	93.1	93.3	83.7	84.2	84.2	94.8	94.8	86.0	84.7	93.9	
		R2年度	93.5%	稼働率	84.5	91.8	91.8	81.5	89.6	88.1	88.1	84.0	84.7	94.4	94.4	86.7	86.4	92.3	
			80	稼働率	84.5	92.9	92.2	82.3	81.7	91.1	91.8	81.8	81.8	92.2	91.7	81.7	81.8	91.5	
	R4年度	82.2%	稼働率	73.5	77.0	77.5	86.8	86.8	86.8	76.8	80.8	79.0	74.8	74.8	82.7	81.1	87.7		
		80	稼働率	73.5	75.7	75.3	75.9	88.4	88.4	69.1	69.9	70.1	70.6	88.8	88.1	88.1	88.1		
	R3年度	81.0%	稼働率	78.3	81.8	81.8	81.3	82.6	89.2	89.2	81.8	88.5	91.8	82.3	82.0	82.0	82.1		
		80	稼働率	78.3	85.2	84.1	83.4	85.2	85.8	85.8	85.8	85.8	88.5	88.5	88.5	88.2	81.4		
	R2年度	84.0%	稼働率	70.0	82.7	80.8	76.1	80.0	84.0	84.0	76.0	86.7	88.0	83.9	83.4	88.9			
		80	稼働率	70.0	81.2	81.1	85.4	88.4	70.9	71.7	73.5	74.2	74.2	72.6	72.6	71.9			
R4年度	77.0%	稼働率	64.4	82.5	85.1	70.5	83.4	84.5	84.5	69.7	74.8	74.8	74.8	77.5	73.8	79.2			
	80	稼働率	64.4	82.5	85.0	85.0	85.2	85.2	85.2	85.2	85.2	88.8	88.8	88.8	88.2	88.5			
R3年度	63.5%	稼働率	70.2	81.1	86.8	70.9	70.9	70.9	73.3	80.8	82.7	72.7	72.2	70.8	81.3	81.5			
	80	稼働率	70.2	85.7	86.3	87.3	88.0	88.0	88.0	88.0	88.0	88.0	88.0	88.0	88.4	88.7			
R2年度	80.0%	稼働率	75.4	79.7	82.4	81.9	78.9	82.0	80.0	73.0	69.2	74.1	69.2	74.1	69.9	88.5			
	80	稼働率	75.4	77.5	79.2	79.9	79.7	80.1	80.1	80.1	79.4	79.4	79.3	76.8	75.9	79.2			
R4年度	53.0%	稼働率	46.0	48.8	43.1	41.2	37.4	40.2	45.0	47.2	43.5	36.7	43.5	36.7	37.9	34.1			
	80	稼働率	46.0	48.2	45.3	44.2	42.8	43.4	42.6	44.1	44.2	43.3	42.9	42.9	42.9	42.1			
R3年度	63.0%	稼働率	33.8	38.5	40.4	41.9	43.1	41.3	50.8	54.6	55.8	37.9	55.8	37.9	33.3	43.3			
	80	稼働率	33.8	35.2	39.9	36.2	39.2	39.6	41.2	42.0	44.3	43.7	42.9	42.9	42.9	42.0			
R2年度	60.0%	稼働率	36.5	45.0	54.8	52.0	49.2	48.5	50.4	48.4	52.4	44.8	48.2	44.8	21.7	25.8			
	80	稼働率	36.5	48.8	45.4	47.2	47.8	47.3	48.2	47.3	48.2	47.3	48.2	44.8	42.7	43.2			
R4年度	9.3%	稼働率	8.7	8.2	7.7	8.4	8.3	8.4	8.7	8.7	8.7	8.7	8.1	7.7	8.4	8.0			
	80	稼働率	8.7	8.4	8.2	8.2	8.2	8.3	8.3	8.4	8.3	8.4	8.2	8.3	8.1	7.9			
R3年度	12.0%	稼働率	8.0	8.1	8.4	7.7	8.0	8.4	8.6	8.6	8.3	8.5	8.5	9.2	8.9	8.0			
	80	稼働率	8.0	8.5	8.5	8.3	8.2	8.2	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4	8.5	8.5	8.6			
R2年度	12.0%	稼働率	10.4	12.3	11.2	9.9	10.9	10.7	10.1	10.1	10.5	9.3	9.5	10.3	10.0	9.7			
	80	稼働率	10.4	10.4	10.3	10.4	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.3	10.3	10.3	10.0	9.7			
R4年度	38.5%	稼働率	30.5	38.2	38.1	38.0	38.0	38.0	38.0	38.0	38.0	38.0	38.0	38.0	38.0	38.0			
	80	稼働率	38.5	38.9	38.7	38.8	38.8	38.8	38.8	38.8	38.8	38.8	38.8	38.8	38.7	38.6			
R3年度	38.0%	稼働率	30.0	37.4	32.2	31.4	31.4	33.8	34.6	35.0	35.3	41.5	41.0	41.0	40.0				
	80	稼働率	30.0	35.7	31.2	31.3	31.4	31.8	32.1	32.4	32.7	33.3	34.0	34.0	34.4				
R2年度	38.0%	稼働率	27.4	38.9	40.3	40.0	40.5	40.5	38.1	38.5	38.0	38.0	38.0	38.0	38.0				
	80	稼働率	37.4	38.2	38.9	38.1	38.4	39.3	39.3	39.3	39.3	39.3	39.3	39.3	38.9	38.3			
R4年度	93.0%	稼働率	85.9	82.9	88.2	70.0	100.0	100.0	97.0	95.7	100.0	100.0	100.0	100.0	97.0	88.9			
	80	稼働率	85.9	92.3	94.4	85.8	98.7	98.7	98.7	98.7	98.7	98.7	98.7	98.7	97.1	97.4	96.7		
R3年度	94.0%	稼働率	100.0	105.0	100.0	100.0	105.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	80	稼働率	100.0	105.0	100.0	100.0	105.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
R2年度	90.0%	稼働率	100.0	97.5	91.8	98.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	97.5	97.5	100.0	100.0	100.0			
	80	稼働率	100.0	98.7	96.1	87.4	97.9	96.2	86.5	88.4	94.3	88.4	94.3	88.4	88.5	98.7			

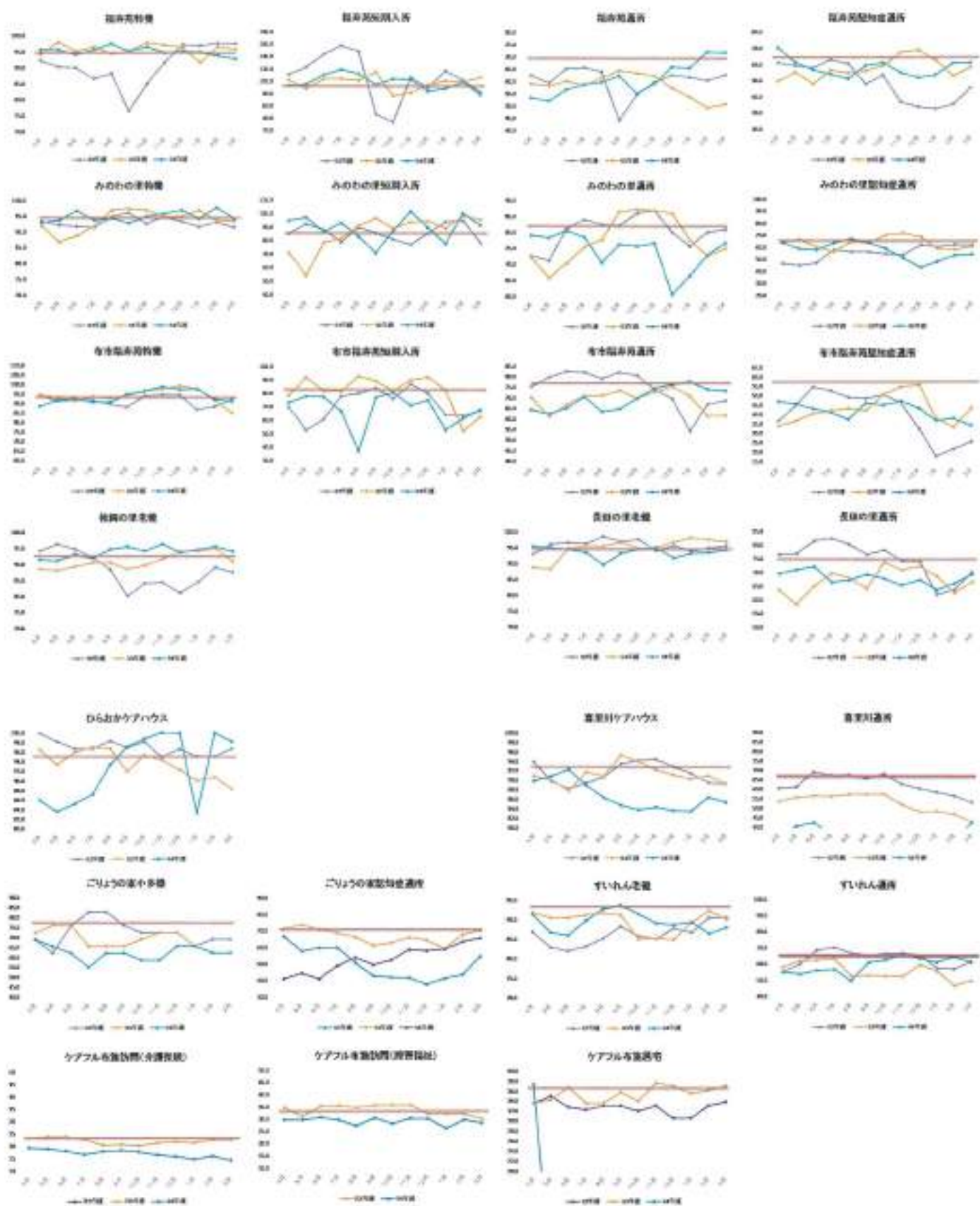
拠点区分	サービス区分	会員	種別	項目	単位目標	単月平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月							
横浜の里	介護老人保健施設	90		稼働率	稼働率	50.0 %	81.4	81.1	83.2	83.0	84.7	85.4	84.1	86.3	86.3	83.8	84.8	85.4	84.3						
					稼働率	50.0 %	81.4	81.1	83.2	83.0	84.7	85.4	84.1	86.3	86.3	83.8	84.1	86.3	84.8	85.4	84.3	84.3			
					稼働率	50.0 %	81.4	81.1	83.2	83.0	84.7	85.4	84.1	86.3	86.3	83.8	84.1	86.3	84.8	85.4	84.3	84.3	84.3		
					稼働率	50.0 %	81.4	81.1	83.2	83.0	84.7	85.4	84.1	86.3	86.3	83.8	84.1	86.3	84.8	85.4	84.3	84.3	84.3	84.3	
					稼働率	50.0 %	81.4	81.1	83.2	83.0	84.7	85.4	84.1	86.3	86.3	83.8	84.1	86.3	84.8	85.4	84.3	84.3	84.3	84.3	
					稼働率	50.0 %	81.4	81.1	83.2	83.0	84.7	85.4	84.1	86.3	86.3	83.8	84.1	86.3	84.8	85.4	84.3	84.3	84.3	84.3	84.3
横浜の里	介護老人保健施設	90		稼働率	稼働率	50.0 %	81.4	81.1	83.2	83.0	84.7	85.4	84.1	86.3	86.3	83.8	84.8	85.4	84.3	84.3					
					稼働率	50.0 %	81.4	81.1	83.2	83.0	84.7	85.4	84.1	86.3	86.3	83.8	84.1	86.3	84.8	85.4	84.3	84.3	84.3		
					稼働率	50.0 %	81.4	81.1	83.2	83.0	84.7	85.4	84.1	86.3	86.3	83.8	84.1	86.3	84.8	85.4	84.3	84.3	84.3	84.3	
					稼働率	50.0 %	81.4	81.1	83.2	83.0	84.7	85.4	84.1	86.3	86.3	83.8	84.1	86.3	84.8	85.4	84.3	84.3	84.3	84.3	84.3
					稼働率	50.0 %	81.4	81.1	83.2	83.0	84.7	85.4	84.1	86.3	86.3	83.8	84.1	86.3	84.8	85.4	84.3	84.3	84.3	84.3	84.3
					稼働率	50.0 %	81.4	81.1	83.2	83.0	84.7	85.4	84.1	86.3	86.3	83.8	84.1	86.3	84.8	85.4	84.3	84.3	84.3	84.3	84.3
ひらおか	経営老人ホーム	60		稼働率	稼働率	50.0 %	81.4	81.1	83.2	83.0	84.7	85.4	84.1	86.3	86.3	83.8	84.8	85.4	84.3	84.3					
					稼働率	50.0 %	81.4	81.1	83.2	83.0	84.7	85.4	84.1	86.3	86.3	83.8	84.1	86.3	84.8	85.4	84.3	84.3	84.3		
					稼働率	50.0 %	81.4	81.1	83.2	83.0	84.7	85.4	84.1	86.3	86.3	83.8	84.1	86.3	84.8	85.4	84.3	84.3	84.3	84.3	
					稼働率	50.0 %	81.4	81.1	83.2	83.0	84.7	85.4	84.1	86.3	86.3	83.8	84.1	86.3	84.8	85.4	84.3	84.3	84.3	84.3	
					稼働率	50.0 %	81.4	81.1	83.2	83.0	84.7	85.4	84.1	86.3	86.3	83.8	84.1	86.3	84.8	85.4	84.3	84.3	84.3	84.3	
					稼働率	50.0 %	81.4	81.1	83.2	83.0	84.7	85.4	84.1	86.3	86.3	83.8	84.1	86.3	84.8	85.4	84.3	84.3	84.3	84.3	
奥平川	通所介護	18		稼働率	稼働率	50.0 %	81.4	81.1	83.2	83.0	84.7	85.4	84.1	86.3	86.3	83.8	84.8	85.4	84.3	84.3					
					稼働率	50.0 %	81.4	81.1	83.2	83.0	84.7	85.4	84.1	86.3	86.3	83.8	84.1	86.3	84.8	85.4	84.3	84.3	84.3		
					稼働率	50.0 %	81.4	81.1	83.2	83.0	84.7	85.4	84.1	86.3	86.3	83.8	84.1	86.3	84.8	85.4	84.3	84.3	84.3	84.3	
					稼働率	50.0 %	81.4	81.1	83.2	83.0	84.7	85.4	84.1	86.3	86.3	83.8	84.1	86.3	84.8	85.4	84.3	84.3	84.3	84.3	
					稼働率	50.0 %	81.4	81.1	83.2	83.0	84.7	85.4	84.1	86.3	86.3	83.8	84.1	86.3	84.8	85.4	84.3	84.3	84.3	84.3	
					稼働率	50.0 %	81.4	81.1	83.2	83.0	84.7	85.4	84.1	86.3	86.3	83.8	84.1	86.3	84.8	85.4	84.3	84.3	84.3	84.3	

備考
(黄色背景は計画外)

拠点区分	サービスクラウド	年度	項目	件数/日数	単月 平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
C/1/3の家	小規模多機能型居宅介護 所	R4年度	稼働率	79.0 %	89.0	85.5	82.1	82.1	85.2	82.1	82.1	82.1	81.6	81.6	85.5	85.5	82.1	82.1		
		平均稼働率		89.0	87.2	85.3	82.1	82.1	85.2	82.1	82.1	82.1	82.1	81.6	81.6	85.5	85.5	82.1	82.1	
		単月稼働率		72.4	75.8	75.9	85.5	85.5	85.5	85.5	85.5	85.5	85.5	85.5	85.5	85.5	85.5	85.5	85.5	85.5
		平均稼働率		72.4	74.7	75.4	77.4	77.4	77.4	77.4	77.4	77.4	77.4	77.4	77.4	77.4	77.4	77.4	77.4	77.4
		単月稼働率		89.0	89.0	82.1	75.8	82.8	75.8	72.4	72.4	72.4	72.4	72.4	72.4	72.4	72.4	72.4	72.4	72.4
		平均稼働率		89.0	89.0	82.1	75.8	82.8	75.8	72.4	72.4	72.4	72.4	72.4	72.4	72.4	72.4	72.4	72.4	72.4
	認知症対応型通所介護	R4年度	稼働率	11.0 %	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	
		平均稼働率		87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	
		単月稼働率		71.5	73.8	72.1	71.3	70.4	68.3	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0
		平均稼働率		71.5	73.8	72.1	71.3	70.4	68.3	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0
		単月稼働率		41.0	44.8	41.3	49.1	54.2	46.7	31.5	53.7	58.0	59.0	63.5	63.1	63.1	63.1	63.1	63.1	63.1
		平均稼働率		41.0	42.8	42.3	44	45.1	46.7	47.5	48.8	49.9	50.7	51.9	52	52	52	52	52	52
サービス	介護老人保健施設	R4年度	稼働率	64.0 %	91.5	88.8	86.7	86.7	86.7	86.7	86.7	86.7	86.7	86.7	86.7	86.7	86.7	86.7	86.7	
		平均稼働率		91.5	89.1	88.1	86.5	89.4	86.1	86.3	86.3	86.3	86.3	86.3	86.3	86.3	86.3	86.3	86.3	
		単月稼働率		91.6	90.6	90.8	91.2	91.3	91.7	91.7	91.7	91.7	91.7	91.7	91.7	91.7	91.7	91.7	91.7	91.7
		平均稼働率		91.6	90.6	90.8	91.2	91.3	91.7	91.7	91.7	91.7	91.7	91.7	91.7	91.7	91.7	91.7	91.7	91.7
		単月稼働率		89.9	82.9	82.0	82.2	80.2	80.2	80.2	80.2	80.2	80.2	80.2	80.2	80.2	80.2	80.2	80.2	80.2
		平均稼働率		89.9	82.9	82.0	82.2	80.2	80.2	80.2	80.2	80.2	80.2	80.2	80.2	80.2	80.2	80.2	80.2	80.2
	高齢者介護事業所	R4年度	稼働率	65.0 %	55.1	54.1	56.1	56.1	56.1	56.1	56.1	56.1	56.1	56.1	56.1	56.1	56.1	56.1	56.1	
		平均稼働率		55.1	54.6	55.1	55.6	54.5	54.5	54.5	54.5	54.5	54.5	54.5	54.5	54.5	54.5	54.5	54.5	
		単月稼働率		58.1	62.1	62.2	62.2	62.8	62.8	62.8	62.8	62.8	62.8	62.8	62.8	62.8	62.8	62.8	62.8	62.8
		平均稼働率		58.1	62.1	62.2	62.2	62.8	62.8	62.8	62.8	62.8	62.8	62.8	62.8	62.8	62.8	62.8	62.8	62.8
		単月稼働率		55.1	60.0	66.7	75.5	66.8	65.5	64.5	64.5	64.5	64.5	64.5	64.5	64.5	64.5	64.5	64.5	64.5
		平均稼働率		55.1	57.8	61.3	67.7	64.3	64.3	64.3	64.3	64.3	64.3	64.3	64.3	64.3	64.3	64.3	64.3	64.3
ケアフル介護	訪問介護 (介護保険)	R4年度	稼働率	73.9 %	35.8	38.3	36.2	35.3	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	
		平均稼働率		35.8	38.1	36.1	35.3	35.3	35.3	35.3	35.3	35.3	35.3	35.3	35.3	35.3	35.3	35.3	35.3	
		単月稼働率		34.8	34.8	33.3	34.5	36.5	37.3	35.5	35.5	35.5	35.5	35.5	35.5	35.5	35.5	35.5	35.5	
		平均稼働率		34.8	34.8	33.3	34.0	34.5	35.0	35.1	35.1	35.1	35.1	35.1	35.1	35.1	35.1	35.1	35.1	
		単月稼働率		22.5	25.0	26.0	24.5	29.0	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	
		平均稼働率		22.5	25.0	26.0	24.5	29.0	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	
	訪問介護 (障害福祉)	R4年度	稼働率	33.4 時間	19.4	18.9	18.0	18.5	17.8	18.2	18.2	18.2	18.2	18.2	18.2	18.2	18.2	18.2	18.2	
		平均稼働率		19.4	19.1	18.7	18.2	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	
		単月稼働率		23.4	23.8	23.7	23.4	22.8	22.5	22.1	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	
		平均稼働率		23.4	23.6	23.7	23.4	22.8	22.5	22.1	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	
		単月稼働率		29.3	29.8	29.9	29.7	27.4	26.1	26.2	26.4	26.2	26.2	26.2	26.2	26.2	26.2	26.2	26.2	
		平均稼働率		29.3	29.8	29.9	29.7	27.4	26.1	26.2	26.4	26.2	26.2	26.2	26.2	26.2	26.2	26.2	26.2	
居宅介護支援事業所	R4年度	稼働率	41.3 時間	34.7	35.1	35.1	35.1	34.8	35.0	34.8	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0		
	平均稼働率		34.7	34.9	34.7	34.1	34.2	34.2	34.2	34.2	34.2	34.2	34.2	34.2	34.2	34.2	34.2	34.2		
	単月稼働率		37.3	37.3	37.3	37.3	37.3	37.3	37.3	37.3	37.3	37.3	37.3	37.3	37.3	37.3	37.3	37.3		
	平均稼働率		37.3	37.3	37.3	37.3	37.3	37.3	37.3	37.3	37.3	37.3	37.3	37.3	37.3	37.3	37.3	37.3		
	単月稼働率		33.5	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3		
	平均稼働率		33.5	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0		

拠点区分	サービスクラウド	年度	項目	件数/日数	単月 平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
C/1/3の家	小規模多機能型居宅介護 所	R4年度	稼働率	79.0 %	89.0	85.5	82.1	82.1	85.2	82.1	82.1	82.1	81.6	81.6	85.5	85.5	82.1	82.1	
		平均稼働率		89.0	87.2	85.3	82.1	82.1	85.2	82.1	82.1	82.1	82.1	81.6	81.6	85.5	85.5	82.1	82.1
サービス	介護老人保健施設	R4年度	稼働率	64.0 %	91.5	88.8	86.7	86.7	86.7	86.7	86.7	86.7	86.7	86.7	86.7	86.7	86.7	86.7	86.7
		平均稼働率		91.5	89.1	88.1	86.5	89.4	86.1	86.3	86.3	86.3	86.3	86.3	86.3	86.3	86.3	86.3	86.3
ケアフル介護	訪問介護 (介護保険)	R4年度	稼働率	73.9 %	35.8	38.3	36.2	35.3	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0
		平均稼働率		35.8	38.1	36.1	35.3	35.3	35.3	35.3	35.3	35.3	35.3	35.3	35.3	35.3	35.3	35.3	35.3
ケアフル介護	訪問介護 (障害福祉)	R4年度	稼働率	41.3 時間	34.7	35.1	35.1	35.1	34.8	35.0	34.8	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0
		平均稼働率		34.7	34.9	34.7	34.1	34.2	34.2	34.2	34.2	34.2	34.2	34.2	34.2	34.2	34.2	34.2	34.2





地域における公益的な取組（改正社会福祉法第24条第2項）に類すると考えられる取組

※下記取組については、地域公益事業（改正社会福祉法第55条の2第4項第2号）にも類する取組と考えられる。

表2②

実施施設	取組	取組内容	開催回数
各施設	就労訓練事業 (都道府県認定事業)	自立相談支援機関からの紹介により就労に困難を抱える方を受け入れ、就労の機会と生活面や健康面での支援を行う。	随時
各施設	大阪府広域就労支援事業	就労訓練事業と内容は同様(大阪地域職業訓練センターや福祉事務所からの紹介による)	随時
特養 ケアハウス	大阪府社会貢献事業	生活困窮者レスキュー事業として制度の狭間などで生活を抱える方への総合生活相談と緊急支援を行う。	特養 ケアハウス
福寿苑	地域の困りごと受付	地域の相談窓口として圏域の地域包括支援センターの受付案内に掲載している。「お年寄り110番」のような位置づけで活動している。	随時
福寿苑	買い物物ツアー	高齢世帯で、ご自身で買い物に行くことができない方に送迎・付添いを 行い実施。	6回
福寿苑	ぼかぼかサロン	ケアハウス喜里川において、誰でも参加可能な地域の集いの場です。合わせて介護相談も受け付けている。	11回
福寿苑 みのわの里	認知症カフェ（サロン）	地域で生活されている認知症の方ご本人の交流の場としてはもちろん、介護者の情報交換や負担軽減、地域住民の認知症への理解度向上を目的として開催。	14回
布市福寿苑	東大阪市事業所ふくしネットネットワーク事業	東大阪市の高齢者地域支え合い事業で取り組まれている事業で、地域の高齢者で異変を発見した際、社協に連絡して情報提供を行い、関係機関につなぐネットワークに事業所登録	随時
布市福寿苑	福祉施設回りハロウイン	ハロウインパーティーとして地域の子どもたちが高齢者・障害者施設を回り、お菓子を用意して高齢者・障害者と交流を図って貰う	1回
ごりようの	御領サロン	御領地区の地域住民と、事業所、地域包括、社協等が共同でサロンを運営。	4回

地域における公益的な取組（改正社会福祉法 24 条第 2 項）に類しないと考えられる取組

実施施設	取組	取組内容	開催回数
各施設	職場体験	大阪府社会福祉人材支援センターに登録。	2 件
各施設	地域の見守り活動	各車両に「こども 110 番」のステッカーを貼り、施設の玄関に「こども 110 番の家」のぼりを立て啓発活動を行っている。	随時
各施設	地域清掃	施設まわりの道、公園等の清掃を実施。	随時
各施設	夢の貯金箱	日本財団の社会貢献自動販売機の設置。	随時
みのわの里 福寿苑 布市福寿苑	介護予防教室	地域包括支援センター主催でピラティスや体幹トレーニング、絵手紙教室を地域向けに開催。	随時
福寿苑 みのわの里 布市福寿苑	家族介護教室	ご家庭で介護をされている方や、介護をされていた方などへ、介護や生活に資する情報提供を地域向けに開催。	4 回
福寿苑 みのわの里	高齢者疑似体験	地域包括支援センター主催で圏域の小学校 5 年生に高齢者疑似体験を開催。	2 回
福寿苑 みのわの里	認知症サポーター養成講座	地域包括支援センター主催で地域の方に認知症サポーター養成講座を開催。	7 回
福寿苑 布市福寿苑	認知症キッズサポーター養成講座	地域包括支援センター主催で、圏域の小・中学生を対象に認知症キッズサポーター養成講座を開催。	4 回
みのわの里	車いす無料貸出し事業	貸出し専用の車いすを 3 台確保し、必要な地域の方に貸与。	随時
布市福寿苑	地域住民と防災災害訓練実施	地域住民と一緒に HUG（避難所運営ゲーム）を実施し、災害が起こった時のシミュレーション訓練を実施	1 回
布市福寿苑	中学生の職場体験	中学生に介護現場の職場体験の実施	随時
布市福寿苑	小学生と東石切公園の	自治連合会主催で行う小学生に体験して貰う花の植え替えの準備・手伝い	年 2 回
布市福寿苑	小学生の高齢者疑似体験手伝い	校区福祉委員主催で行う小学生の高齢者疑似体験の準備・手伝い	2 回
すいれん	体操動画配信	コロナ禍で直接的な体操教室の開催が難しかったため、地域の方々にも見て頂けるよう、体操動画を作成し、広報誌や施設前の掲示板で視聴配信案内を行う。	2 回

付表③

法人内部研修一覧表

月日	研修名	参加者
4/1	理念・ビジョン・経営方針について	令和5年度新卒採用職員
	就業規則について	
	接遇マナーについて	
4/3	人権研修	
	事故発生防止について	
	認知症サポーター研修	
	認知症の人とのコミュニケーション	
4/4	ご利用者体験・グループワーク	
	介護技術（口腔ケア・誤嚥性肺炎の予防）	
	介護の心得	
4/5	感染症予防について	
	救急救命講習	

本部職員研修参加一覧表

月日	研修名	研修主催機関	参加者
11/24	弥生給与年末調整セミナー	税理士法人 カオス	事務員
11/26	全国大会	福祉経営実践 研究会	財務部長代理・ 主任事務員
1/31	介護施設における外国人の定着支援セミナー	大阪府社会福祉 協議会	事務員

【1】施設運営を振り返って

- (1) 上半期、感染症の発生に伴う影響はなく運営は出来ていた。
 感染者数の増加時期には当施設事業所でも同様にご利用者、職員共に感染者が増加した。
 それにより事業内容及びサービスの質低下とにならないよう感染拡大に努力したが、入所事業は下半期にクラスターが発生し事業運営に影響があった。
- (2) 管理監督職へ事業収支について説明会を実施。
 収支について目を向ける機会を設ける事で安定して質の高いサービスを行うことに目を向ける機会が出来た。
 これからも計画的にすすめ、人員体制整備や教育指導についてより質の高いサービス提供で収支安定に努めていく必要がある。
- (3) 業務改善に努め、職員が人を呼び込める施設環境へ変化させる事に説明を重ねてきた結果、職員紹介により採用がすすんだ。
 派遣会社に頼る状況は改善しないが改善に向かう行動にはなっている。
 経験、資格を保持する介護助手採用をすすめ介護士の業務負担を改善した。
 業務内容の整理と体制整備は継続課題とし、今後は体制を維持する事に向け職員教育、指導力向上につとめる。
- (4) 地域の福祉事業所で発生した感染症でサービス利用できなくなったご利用者のサービス利用を積極的に受けるようにし社会資源を有効に利用していただけるように努めた。
 地域と活動できる拠点づくりについては十分な活動には至っておらず継続した課題である。地域拠点と変化していけるよう活動をしていく。

【2】数値目標と実績

事業名		稼働率等	収入達成率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠点	目標	—	100%	72.5%	24.3%	6.4%	△3.2%
	実績	—	101.8%	72.5%	23.9%	10.2%	△6.6%
特養	目標	95.0%	100.0%	75.0%	31.2%	7.8%	△14.0%
	実績	95.2%	107.5%	69.1%	28.5%	12.8%	△10.4%
短期入所	目標	95.0%	100%	42.6%	20.4%	1.8%	35.2%
	実績	97.9%	111.6%	34.9%	17.6%	0.8%	46.7%
通所	目標	70.0%	100%	71.7%	22.4%	13.0%	△7.0%
	実績	60.9%	85.3%	94.8%	27.2%	21.9%	△43.9%

認知通所	目標	65.0%	100%	60.5%	14.3%	6.2%	19.0%
	実績	58.0%	91.6%	69.2%	15.9%	6.4%	8.5%
訪問介護	目標	4620 件	100%	104.0%	10.9%	1.5%	△16.4%
		1 人 5.0					
	実績	3088 件	97.1%	110.9%	8.8%	1.8%	△21.5%
		1 人 2.7					

※償却費率は減価償却費から国庫補助金等特別積立金取り崩し額が分子

※訪問介護の訪問件数は、年間延べ利用者数（上段）と職員常勤1の1日あたりの訪問件数（下段）

居宅介護	目標	2280 人	100%	71.6%	2.9%	0.6%	24.9%
		1 人 39.0					
	実績	2183 人	92.9%	81.9%	2.7%	1.3%	14.0%
		1 人 37.9					
介護予防	目標	2400 人	100%	41.6%	41.9%	—	16.5%
		1 人 39.0					
	実績	2469 人	106.0%	47.5%	47.2%	—	5.3%
		1 人 42.0					
地域包括	目標	170 件	100%	85.5%	13.4%	2.2%	△1.1%
	実績	146 件	99.1%	84.0%	15.8%	2.9%	△2.8%

※地域包括支援センターは、介護予防教室・家族介護教室・グループ活動支援・地域ケア支援集団・認知症カフェ・認知症サポーター養成講座・生活支援コーディネーター活動（集団）などの開催件数。

【3】事業計画の実施状況

（1）特別養護老人ホーム福寿苑（短期入所事業を含む）

①令和4年度に取得目標にしていた褥瘡予防、経口摂取維持、ADL維持向上加算については未取得となる。異動や感染症発生により、多職種で連携し加算取得に向け準備がすすめる事が出来なかった。継続して経口摂取維持加算、ADL維持向上加算取得に向け取り組んでいきます。

②夜勤職員配置加算基準を満たしており、夜間のご入所者の処遇改善につながっている。しかし夜勤専従の非常勤、派遣等の雇用による体制では日中のかかわりがなくご利用者担当を受け持つこともないなど、スタッフの教育指導（夜間おける看護、緊急対応）が雇用の入れ替わりの都度行わなければいけない課題もある。システムの活用にて情報共有は改善されている為、体制整備と維持、教育指導を行い努めていきます。

③短時間労働と夜勤専従の非常勤雇用、介護助手のフロア配置が定着し業務改善になっている。業務手順書を活用し、都度確認しあう指導により共有することで育成に組めた。

(2) 通所介護（認知症対応型を含む）

①人員が安定し、介護・看護・相談員・機能訓練指導員とそれぞれ専門職としての意識をして業務にあたる体制整備が出来た。その事により利用者様のニーズにあわせたサービス提供がすすみました。

②専門職の能力を活かしたサービス提供を意識し、其々が情報共有することで利用者様に対するサービス向上に繋がりました。介護技術研修やOJT、職員間で日々確認することで介護技術向上に取り組むことができました。

③今年度は2回、家族様、ケアマネ様をお招きして外部参加型行事を実施することができました。またボランティア様による演奏会、圏域の高校との交流ができました。今後も地域の住民の皆様福祉の地域資源の拠点として認識して頂けるように活動していく必要があります。

④コロナ禍により会議はリモートで参加するためにIT化が進みましたが、記録業務IT化は令和4年度あまり進みませんでした。令和5年度事業の重要課題の一つとして継続していきます。

(1) ヘルパーステーション

①月1回勉強会、カンファレンスを実施。可能な限りZOOM等による研修に参加した。

②労働環境の整備、適宜職員からのヒヤリングを行う事により人員の増減は無かった。

③人員の充足を目指し、積極的な人材確保に努めたが、増員はなかった。効率的な人員配置を実施した。

④利用者宅での防災点検は継続して実施、防災意識の啓発を行った。

(4) 居宅介護支援事業所

①「質の高いケアマネジメントの推進」

・1回/週居宅ミーティングにて利用者状況を共有し、困難な対応や担当者不在時には出勤している職員で関わった。

・年度初めに各担当の目標を設定し、関連研修には積極的に参加できた。

・1回/2カ月地域包括支援センター主催の「ひらひら研究会」にて、地域の他事業所との合同事例検討会に参加し、参加後事業所で共有している。

②「業務効率を図りワークライフバランスの実現」

・個別ニーズへの対応と職員のワークライフバランスに資するため、職員が個々に時間管理を行う事ができた。

・ケアマネ一人につき1回/月程度を目安にテレワークを実施し、計画的に

運用できた。

③「地域の諸機関との連携強化」

- ・地域包括支援センターからの困難事例受け入れ枠を確保し随時相談を受け受け入れができた。
- ・地域の多職種が集う研修会に積極的に参加できた。多職種連携研修会のコアメンバーとして研修を参画した。

(5) 地域包括支援センター

- ①参加者のフレイル予防として感染予防対策を行い、集合型の介護予防教室、家族介護教室、認知症サロンの定期開催を継続することが出来ました。来年度も新しい介護予防教室の開催や、介護に資する情報提供ができる教室を開催していきます。
- ②昨年度完成した社会資源マップから、山手地域のフレイル予防のための体操教室を生活支援等会議のメンバーである民生委員と立ち上げることになり、介護保険を利用していない認知症高齢者をその新しい通いの場に繋ぐことが出来ました。その取り組みが単位地域ケア会議となり、第1層への課題提示として認められました。
- ③ケアマネ支援はリモートで定期的で開催し、年度末には東体育館で集合型研修として開催することが出来ました。多職種連携研修会は、対面とリモートとのハイブリッド型で2回、開催することが出来ました。どちらも集合型での研修のニーズも高まっており、来年度は研修の形式も検討しながら開催していきます。
- ④認知症サポーター養成講座は、集合型で2回開催することが出来ました。リモート型では開催することが出来ませんでした。圏域の2小学校の5年生にキッズサポーター養成講座を実施。ベッパ君を基幹型包括からお借りして、対面形式で開催することが出来ました。来年度も定期的な認知症サポーター養成講座や、キッズサポーター養成講座を開催していきます。

【4】施設の課題

(1) 事業運営の安全性

コロナ禍が継続した中、施設入所者のクラスター発生や在宅サービスでの感染症発生など、コロナウイルスによる事業への影響は継続しました。

感染症類型は令和5年度見直しされる状況ではありますが、ご利用者、職員の安全を守るためにはこれまで同様に感染予防に努める必要はあるため、対策と職員への意識啓発は取り組む継続した課題です。

(2) 各事業収益構造改善

法令をしっかりと理解し個別ニーズに答える事。加算取得によりサービスの質を高める取り組みをしてきましたが、安定した人員確保が出来なことから取得している加算算定によりサービスの質が低下しないようにすすめる事で精一

杯な状況があった。しかしながら、業務整理を行いながら質を高めるための体制整備は改善してきている。

(3) 教育指導の機会を確保

教育機会などが感染症により集合型で開催されない状況から、職員間で直接情報を交換する機会が減っていることがある。その為、職員が孤立する状況があった。

ご利用者支援に向けたサービスの質改善のために交流を含めた研修の機会や体制を整えた中で職員が安心してサービス提供が行えるための研修の実施も法令による最低限の実施になっている状況でした。職員は知識や技術を磨き高めていく取組ができるようにその機会を失う事のないようにしていきます。

【5】付表

(1) 年間行事

特別養護老人ホーム

月	行事内容	
4	花見ドライブ (未開催)	花見会 (開催)
5	春の外出ドライブ (未開催)	※端午の節句・母の日会開催
6	春の外出ドライブ (未開催)	※父の日 (未開催)
7	七夕会 (開催)	
8	夏祭り (開催)	
9	敬老祝賀会 (開催)	
10	秋の外出ドライブ (未開催)	※運動週間 (未開催)
11	秋の外出ドライブ (未開催)	
12	クリスマスお食事会 (開催)	
1	元旦お食事会 (開催)	
2	節分祭 (未開催)	
3	ひな祭り (未開催)	
毎月開催	・誕生日会・ホーム喫茶・DVD 観賞会・各種レクリエーション ・書道クラブ	

臨時温泉 (一般浴・機械浴をご利用して頂く際に入浴剤を入れ気分転換をして頂く)

11月1日から3週間程開催

デイサービスセンター

月	行事内容
4	お花見 (4/2~4/8)
5	室内運動会 (5/4~5/6) 未来茶房和ごころ (5/28)
6	おやつ作り (6/16~6/25)
7	七夕祭り (7/5~7/7)
8	夏祭り 延期
9	敬老祝賀会 延期
10	文化祭 (10/22~10/25)
11	焼き芋大会 (11/19)
12	クリスマス会 (12/21~12/23)
1	新年会 (1/10~1/12)
2	節分祭 (2/1~2/3)
3	ひな祭り (3/1~3/3)
随時開催	・季節のお風呂・誕生日会・アコーディオン演奏会 ・カラオケ (中止) ・ごちそうの日

(2) 防災訓練

月	種別	内容
4	基礎訓練	新規職員を対象とした消火器の取り扱い、消火活動訓練、水消火器を使用した模擬消火訓練
6	BCP訓練 (天災)	ライフライン停止から復旧までを想定した、備蓄食の取り扱い及び廃棄物の処理方法などの訓練
9	総合訓練	【消防職員立会いによる3施設合同の総合訓練】職員と入所者を対象とした通報、消火、排出訓練
11	BCP訓練 (感染)	感染症発生拡大から蔓延抑圧までを想定したシミュレーション訓練

1 2	夜間総合訓練	夜間並びに日祝日等職員の少ない場合を想定した夜勤者・宿直者による通報、消火、避難訓練
2	土砂対策訓練	職員と3.4.5F入所者を中心とした土砂災害時基礎訓練

※ 令和5年2月27日 夜間総合訓練 令和5年3月27日 災害時避難訓練

(3) 研修

特別養護老人ホーム

月	研修内容 (テーマ)
4	褥瘡に関する研修 (褥瘡ケア)
5	事故・リスクマネジメントに関する研修 介護技術研修 (事故予防)
6	食中毒に関する研修 (感染症)
7	身体拘束・虐待に関する研修 (身体拘束)
8	安全対策に関する研修 (安全対策)
9	事故・リスクマネジメントに関する研修 (事故防止)
10	苦情対応に関する研修
11	認知症ケアに関する研修
12	感染症に関する研修 コロナ感染より開催中止
1	個人情報保護についての研修 感染症発生により未開催
2	高齢者の人権・虐待に関する研修
3	プライバシー保護に関する研修
不定期	ミニ研修 (ハラスメント、OJT、クレーム対応、法人理念ビジョン、プライバシー保護、リハビリテーション、看取り対応、LIFE、排泄支援など)

デイサービスセンター

月	研修内容
4	接遇と苦情対応未実施
5	安全運転
5	認知症

6	移乗介助
7	緊急時対応と BCP についてコロナ延期
8	虐待と身体拘束コロナ延期
9	食事介助コロナ延期
10	認知症
11	感染症
11	個別機能訓練研修
12	入浴介助
1	個人情報
1	高齢者虐待 口腔ケア研修 BCP 研修
2	BCP 研修
3	認知症

福寿苑ヘルパーステーション

月	研修内容
4	介護現場で求められる接遇マナー
5	認知症研修
6	食中毒の基本と予防
7	熱中症の予防と対策、感染症研修
8	個人情報保護とプライバシー
9	防災会議、救急救命
10	高齢者虐待と人権
11	感染症の予防と対策
12	介護事故を防ごう！介護現場でよくあるヒヤリ・ハット
1	早く気づけるストレスケア
2	介護の現場で必要な介護技術の基本
3	倫理及び法令遵守に関する研修の目的
備考	※オンライン研修の伝達等、ミニ勉強会を適宜実施

地域包括支援センター事業実績報告書

令和4年度年間合計

センター名 福寿苑

今年度新規相談
実人員 215

相談件数

実数把握加算対象	1338
加算対象外件数	-1
相談件数合計	1338

認知症相談件数 118

母子相談件数	7
34歳未満児童件数	4

相談者と相談方法

本人	家族	DM	その他	計
330	531	62	615	1338

訪問	来所	電話	計
1137	106		1243

家族形態

同居	他居	計
731	587	1338

身体状況

不明	未申請	申請中	自立	要支援		要介護計
				1	2	
12	199	88	11	582	333	915
総合事実						
要介護度				要介護計		計
1	2	3	4	5	66	
18	54	22	12	5	2	1338

相談内容及び申請代行

	介護保険	介護	福祉サービス	保健指導	生活相談
相談内容	1337	305	16	28	29
申請代行	158		1		
介護予防					
相談内容	基本チェック	その他	計		
相談内容	48	2	95	1854	
申請代行				158	

サービスの状況と利用希望

	ホームヘルプ	デイサービス	デイケア	ショートステイ	訪問入浴	福祉用具	訪問診療	訪問看護	訪問リハビリ
現状									
利用希望	90	165	9	3		121	4	22	4

	緊急	非常時	入浴	手洗プラン	生活援助	経済的	取付金い	ついで	短期集中	計
現状										
利用希望	20	91	11	146	7	4				697

単位地域ケア会議

会議出席者	介護支援 専門員	サービス 事業者	医師		
		1			
	医療機関 職員	自治会	民生委員		
			1		
社会福祉 協議会職員	民生委員	社人			
	1				
単位地域 ケア会議 出席回数	出席	欠席			
	1	1			

地域ケア支援・生活支援コーディネーター 内訳

相談方法

訪問	来所	電話	FAX等	計
2		10	1	13

地域ケア支援 個別加算対象	10
地域ケア支援 集団加算対象	49

相談者	虐待	差別
	12	1

生活支援費用加算対象 3

	介護支援 専門員	サービス 事業者	自治会	医療機関 職員	関係機関	学校機関	NPO法人
地域ケア(個別)	1				12		
地域ケア(集団)	8	13					
生活支援(集団)		1					
	ボランティア	自治会	関係地 区職員	民生委員	老人クラブ	その他	計
地域ケア(個別)							13
地域ケア(集団)		8		10	1		47
生活支援(集団)							2
							3

実施した支援・内容

地域ケア支援(個別-集団)						
ケアマネ メント支援	ソーシャル ネットワーク 活動	情報提供	連携支援	その他	計	
					13	13
個別	6	1	33	2	47	
生活支援コーディネーター活動(集団)						
生活支援の 思いやりの 活動状況確認	生活支援 の思いや りな支援	総合事 業の制 度説明 等	地域の 課題等	計		
集団	17		2	19		

認知症支援

認知症 ケア(基 礎)	認知症-認知症ケア(その他) (認知症ケア)	認知症本人 等支援 (個別)	認知症本人 等支援 (集団)	計
12	4			16

高齢者生活支援等会議

地域活動団体				福祉-介護関係		
自治会	地域福祉委員	民生委員	老人クラブ	在宅介護 支援	訪問介護	通所介護
1	3	3		3	3	1
医療機関						
医師	歯科医師	薬剤師	その他	計		
2	2	2		20		
高齢者生活支援等会議 参加回数						3

社会資源マップ作成

社会資源マップ加算対象

第1層への課題提示

第1層への課題
提示加算対象 1

地域介護予防推進事業等実績報告書(集計表)

令和4年度年間分

支援センター名 地域包括支援センター福寿苑

地域介護予防活動支援

相談・支援件数	
総件数	
	96グループ 活動支援
27	21

グループ種別					
老人 クラブ	地区福祉 委員会	自治会	老人の ボランティア ア	その他	計
		7		20	27

相談方法				
訪問	来所	電話	その他	計
			27	27

教室実施状況

開催件数	
介護予防教室 開催件数	41
家族介護教室 開催件数	4

【1】施設運営を振り返って

- (1) 毎朝のミーティングにて「理念」の確認をしていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、それができなくなっていることで、法人職員のあるべき姿である理念が希薄になっている可能性があります。

また、地域との関りも制限された1年でした。

来年度は新型コロナウイルス感染症の位置づけも変わる見込みなので、コロナ前の利用者支援や地域支活動の再開を行うことが重要と考えます。

- (2) 今年度におきましても新型コロナウイルス感染症のクラスターが2度発生しましたが、感染症対策の研修・訓練を行っていたこと、昨年の経験を積み重ねていたことで対応がスムーズに行えました。

また、所轄保健所と大阪府高齢者施設等クラスター対応強化チームに2度来所頂き指示指導を受けることで、日頃からの対策の強化に繋がりました。

- (3) 住み慣れた地域の身近な社会資源（施設）としての活動につきましては、「保育所」「学校関係」「障がい福祉」等との交流が、昨年が続いて新型コロナウイルス感染症の影響で行えませんでした。

地域包括支援センター事業による介護予防教室等の再開、地域のだんじり祭りの休憩場所として施設を活用してもらうことなど、徐々に新型コロナウイルス感染症の影響も少なくなってきました。

令和5年度には第5類感染症に変わりますので、感染状況を把握しながら地域活動を行ってまいります。

- (4) 各事業におきまして、介護記録や各帳票作成を介護記録システムに移行することができた1年でした。

今まで行っていた委員会や会議等、当たり前と考えていたことを整理するなど、変化することに弱みがありましたが、各委員会や会議につきましても整理することで削減でき、業務のスリム化が進みました。

このスリム化でできた時間を利用者処遇・職員処遇の向上にむけることができているか確認して、より良い職場環境を目指します。

- (5) 職員同士が互いを受け止め、認め合うことで「風通しの良い職場環境」を作れるようOJT面談を行い職員ひとり一人の思いを確認しました。

しかし、今年の1月の職員アンケートの結果「職場での仕事の相談ができない」「職場でのコミュニケーションがとりにくい」と多く回答があったことをしっかりと受け止め、どうすれば解決にむかえるのが課題としてあります。

【2】数値目標と実績

事業名		稼働率等	収入達成率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠点	目標	—	100%	67.0%	23.0%	5.0%	5.0%
	実績	—	102.8%	61.5%	22.7%	4.2%	11.6%
特養	目標	95.0%	100%	60.0%	28.0%	5.0%	7.0%
	実績	94.1%	102.5%	55.0%	27.5%	4.3%	13.2%
短期入所	目標	85.0%	100%	65.0%	22.0%	7.0%	6.0%
	実績	91.1%	113.3%	46.9%	21.5%	5.7%	25.9%
通所 (障害含)	目標	82.0%	100%	75.0%	12.0%	5.0%	8.0%
	実績	76.5%	90.2%	74.2%	14.7%	5.5%	5.6%
認知通所	目標	67.0%	100%	75.0%	15.0%	3.0%	7.0%
	実績	54.3%	89.7%	88.2%	16.1%	3.3%	△7.6%

※償却費率は減価償却費から国庫補助金等特別積立金取崩額を引いた額が分子

訪問入浴	目標	777人 1日3.0	100%	121.0%	5.0%	2.0%	△28.0%
	実績	833人 1日3.3					
訪問介護	目標	5100人 1人3.5	100%	109.0%	2.0%	1.0%	△12.0%
	実績	4940人 1人3.4					

※訪問入浴の訪問件数は年間延べ利用者数（上段）と1日あたりの訪問件数（下段）

※訪問介護の訪問件数は年間延べ利用者数（上段）と職員常勤1の1日あたりの訪問件数（下段）

居宅介護	目標	2607人 1人38.0	100%	79.0%	3.0%	1.0%	17.0%
	実績	2395人 1人36.3					
介護予防	目標	2340人 1人39.0	100%	60.0%	44.0%	0%	△4.0%
	実績	2406人 1人40.1					

※担当件数は年間延べ利用者数（上段）と職員常勤1の1日あたりの訪問件数（下段）

地域包括	目標	115件	—	90.0%	6.0%	2.0%	2.0%
	実績	130件	111.2%	87.5%	4.8%	2.7%	5.0%

※地域包括支援センターは、介護予防教室・家族介護教室・グループ活動支援・地域ケア支援集団・認知症カフェ・認知症サポーター養成講座・生活支援コーディネーター活動（集団）の開催件数

【3】事業計画の実施状況

（1）特別養護老人ホーム

①介護記録システムの活用強化を行い、日々の業務の見直し、効率化を図り働きやすい職場環境を整えます。業務改善した時間をご利用者支援にあて、充実した生活を送れるように努めます。

- ・全職員が介護記録システムを使用し、チェック表等の紙媒体に記録していたものも徐々に介護記録システムに移行。2重帳票を廃止することで業務削減ができ、日々のラジオ体操や脳トレ等を行いました。

また、令和5年4月からの科学的介護推進体制を整えるための帳票作成を行いました。

②人権についてより理解し、身体拘束ゼロに向けて取り組みます。

- ・身体拘束については身体拘束適正化委員会及び、カンファレンスで切迫性、非代替性、一時性について検討を行い1名の身体拘束を廃止しました。

③ご利用者・ご家族の要望に応えるため、個別支援の充実を図ります。

- ・コロナの影響で外食等の支援は行えていませんが、冠婚葬祭への参加時の送迎や受診時の送迎など柔軟に対応しました。

- ・11名の看取り介護を実施しました。

④ご利用者に季節を感じていただけるよう、季節感のある行事を充実させていきます。

- ・桜の時期には近くの公園にて花見をしてもらい、季節を感じてもらえるような行事を行いました。コロナ禍で外出する機会が減ったため、四季折々目で見ても季節を感じて頂けるよう栄養士と連携し食事の提供を行いました。

⑤ご利用者に楽しい・美味しいと感じていただける食事を提供し、一人ひとりの状態に応じた栄養管理を実施します。

また、食事に関する情報を、ブログを通じて発信します。

- ・楽しい、美味しいと感じて頂ける食事を計画し提供出来ました。多職種と相談し、栄養管理を実施しました。行事食のブログを掲載しました。

（2）短期入所生活介護

①機能訓練体制における機能訓練の充実化を図り、住み慣れた場所で在宅生活が継続して行えるよう支援します。

- ・理学療法士と連携し、リハビリの希望が強いご利用者を対象に、週に2回、定員を3名までとして実施し、残存機能の維持向上を行い、住み慣れた場所で継続して生活が送れるよう支援しました。

②ご利用者・ご家族の要望に応えるため、個別支援の充実を図ります。

- ・コロナウイルス感染状況を考慮し、可能な時に買い物の同行支援を行いました。

(3) 通所介護・認知症対応型通所介護・身体障害デイサービス

①科学的推進体制加算を取得し、質の向上に努めます。

- ・加算要件を満たせるように利用者情報収集に努めました。全ご利用者から同意を得る事が出来、4月から算定開始する準備を行いました。準備とともに、算定後のフィードバックの活用方法について検討を行いました。

②認知症対応型のご利用者を対象に、作業療法クラブ活動週間を毎月開催し、認知症の進行予防に努めます。

- ・年間通して、毎月作業療法の作品をご利用者と一緒に作成しました。ご家族にも好評でした。一定の作業療法を行う環境の整備ができましたので、次年度より施設内通貨に取組みます。

③通所介護計画書作成をブルーオーシャン作成に移行を行う事での業務効率化を図ります。

- ・情報を一括管理することで、見える化につながりました。計画書文書を作成するにあたり定型文も反映することができ、業務削減に繋げることができました。

(4) 訪問入浴

①ご利用者の状況に合わせ、柔軟にサービスを提供します。

- ・ターミナルケアの依頼が多く、迅速に対応しました。ケアマネジャー、他事業所訪問看護の声掛けや協力を得ることができた結果、みのわの里デイサービス利用歴のある方からの依頼に繋がりを継続した在宅生活の支援を行うことができました。

②新規利用獲得の為に積極的に営業活動を行う。

新規事業所開拓を月1件以上目指します。

- ・毎月の実績報告を直接営業活動で伝え、介護支援専門員等の顔の見える関係性を構築することで新規事業所からの依頼や他事業所の訪問看護からの紹介など、多く頂くことができました。

(5) 訪問介護

①ヘルパーの採用を促進

求人媒体や自施設の求人ラックを活用し人材確保に努めます。

- ・友人や知人への声掛けを継続して行った結果、1名の人員を確保することができました。

その結果、新規依頼等、支援を必要とする方にサービスを提供することができ

ました。

②新規利用者獲得に努めます。

毎月、新規利用者2名を目標とします。

- ・年間通して述べ25名の新規利用者を獲得するに至り、目標人数達成しました。
- ・常に空きがない状況を維持し、支援の必要な方にサービスを提供することができました。

③要介護者、特に身体介護を増やします。

身体介護の割合、30%を目標とします。

- ・上半期は平均28% 8月からは毎月30%以上を維持し、月平均35%を維持。

年平均は33%を達成、住み慣れた場所で生活が送れるよう支援しました。

④自費サービスの受け入れを行います。

- ・介護保険では対応できない通院時院内介助の自費サービスを提供しました。

(6) 居宅介護支援事業所

①定期的な会議や研修の参加、困難事例などの対応を行い重層的支援が行えるよう専門職として質の高いケアマネジメントを提供します。

年間18件の外部研修(障がい福祉や医療)や事例検討会などに参加し、伝達研修を行うことで重層的支援体制に対応できる専門性の資質向上を図ります。

- ・25件の外部やリモート研修に参加し伝達研修を行い、重層的支援体制に対応できる専門性の資質向上を図りました。

②地域と交流を図る事で共に成長する事に繋がり、繋がりを持つ中で共に地域の身近な社会資源として貢献します。地域の他法人と合同の事例検討会実施や研修会に参加し情報交換や共有を行います。

医療機関や地域事業者と連携を図ります。

- ・他法人との合同研修を年2回行い事例検討会と情報共有を行いました。
また、地域のクリニック・訪問看護ステーションや福祉用具事業者・サ高住やグループホームなどと情報交換や共有を行いました。

③テレワークやウェブを活用し業務効率を図ると共に感染症災害時や自然災害時にも対応できる体制づくりを行います。テレワークを推進し業務効率化を図り残業削減を行います。

- ・感染症流行時等にテレワークを積極的な活用、ウェブ会議の参加することにより、業務の継続ができ災害時等での対応可能な体制づくりを行いました。

(7) 地域包括支援センター

①初めて文科系(園芸・俳句)の予防教室立ち上げを実施します。

- ・初めて文科系(園芸・俳句)の予防教室を開催しました。

②リモート型予防教室を始動します。(ラインの公式アカウント活用等)

・ラインの公式アカウント活用はできましたがリモート教室の開催はできませんでした。

③ケアマネジャーの後方支援として法定外研修を継続して開催します。

・ケアマネジャーの後方支援として法定外研修を2回開催しました。

④高齢化の進む府営住宅で集会所を活用した教室や講座の定期的開催します。

・高齢化の進む府営住宅で集会所を活用した教室や講座の定期的開催しました。

⑤圏域事業所との連携強化の為に交流会や勉強会を継続します。

・圏域事業所向けに毎月の研修会、多職種連携研修会で2か月に一回研修の配信を行いました。

⑥昨年度、実現できなかった集会所や店舗などの出張型相談会の安定した実現を目指します。

・単独での出張相談会はできませんでしたが家族介護教室などの際に介護相談のブースを設置いたしました。

(8) 事業全体で取り組むべき事項

①各事業で継続的に業務改善に取り組みます。

事業ごとに解決すべき課題を把握し、改善策の立案、実施に取り組みます。

【特養】

介護、看護、相談員、PT、栄養士等多職種連携し、介護記録システムを活用。2重帳票の廃止、情報の共有化することで時間の削減を行いました。

【通所介護】

通所介護計画書を介護記録システムへの作成移行を113名の移行を終了しました。移行する事で2重の帳票作成及びペーパーレス化を推進しました。

【訪問介護】

事業所の統合及び業務効率化のため、介護記録システム(タブレット)を導入し職員全員に支給。ペーパーレス化及び業務効率化及び効率化を行いました。

②感染症や災害への対応を強化します。

B C P、感染症防止マニュアル等の見直しにより、発生時に備えた取組みや発生時の業務継続に向けた対策を強化します。

・新型コロナウイルス感染症の発生時の訓練を実施し、緊急時に事業が継続して行えるように対応しました。

・診療所の管理医師と連携し、診療所での抗原検査、PCR検査ができる体制を構築。

また、有事の場合は重症化予防のために速やかにコロナウイルス経口薬及び抗体カクテル療法を行い、施設内療養しながら治療が行えるよう体制を整えました。

・火災、水害を想定した避難訓練を実施しました。

- ・災害に備え、新たに非常備蓄食の入れ替えを行いました。また有事に備えた備蓄食の正しい食べ方の研修会を実施しました。

③風通しの良い職場環境づくりに取り組みます。

職員1人ひとりが、お互い認め合い、相談しやすい環境づくりに取り組みます。

OJT・OFF-JTを通じてワークエンゲージメントを高めます。

- ・定期的な個人面談を通じて目標設定や振り返りを行いました。外部研修への参加の機会はリモートを活用しました。新たな気づきや働きがいが見いだせるよう取り組みをおこないました。

【4】施設の課題

①利用者処遇の向上・業務改効率の改善・職員の職場環境整備を目的に以下の内容を計画します

<特養>

インターカム導入（特養） 1,500,000円

- ・職員の使い勝手が良い機器が見つからず、購入に至りませんでした。

②対象地域を限定せず介護予防教室等を開催し広域的にフレイル予防に取り組みます。

又、コロナ禍におけるリモートを活用した予防教室を推進します。

- ・新型コロナウイルス感染症状況により実施できませんでした。

③月1回地域清掃を行い、地域美化運動に取り組みます。

- ・毎月地域美化運動及び施設内の清掃活動を実施しました。

④地域住民への車椅子の無料貸出しを行います。

- ・1年間で26台の車椅子の無料貸し出しを実施しました。

【5】付表

(1) 年間行事

特別養護老人ホーム

月	行事内容	
4	(施設内行事)	委員会活動
5	ドーナツ行事	・広報委員会 (今年度より廃止)
6	スイカ祭	・防災営繕委員会 (今年度より廃止)
7	季節の食事行事 (うな井)	・給食委員会 (月1回)
8	夏祭り (フロア開催)	・施設介護計画委員会 (今年度より廃止)
10	秋祭りだんじり見物 味覚狩り (芋ほり行事)	・特養事故防止対策委員会 (月1回)
	ハローウィン行事 (中止)	・入所選考委員会 (月1回)
	みのわの里 福祉祭 (中止)	・特養感染症予防対策委員会 (月1回)
11	秋の収穫祭 ・各フロアにて秋らしい飾り付け とたこ焼きの提供 ・各フロアにて天ぷらを提供	・環境美化委員会 (今年度より廃止)
	クリスマス会 (フロア開催)	・身体拘束防止委員会 (3カ月に1回)
12	年末もちつき見学 (中止)	・特養研修推進委員会 (今年度より廃止)
	元旦祭 (中止) ・各フロアにて握り寿司	・安全衛生委員会 (月1回)
1	節分祭 未実施	・痰の吸引等安全対策委員会 (月1回)
3	慰いのお茶会 各フロアにてたこ焼きとジュース を提供 ・各フロアにてお造り弁当を提供	・行事クラブ推進委員会 (今年度より廃止)
		・特養看取り介護委員会 (月1回)
		・ICT推進委員会 (今年度より廃止)
		・褥瘡予防委員会 (月1回)
		(今年度より廃止の委員会は、委員会としては活動せず個別に協議していく)
		クラブ活動等
		・クッキングクラブ (中止)
		・折り紙クラブ (中止)
		・習字クラブ (中止)
		・カラオケ (中止)
		・法話会 (中止)
		・いきいき歌体操

通所介護

月	行事内容
4	春の桜弁当・みのわの藤棚・作業療法（児）
5	皷月御膳・母の日フラワーカップ・さつま芋作り・クリスタルソーブ作り
6	父の日ランチ・絵手紙・朝顔の壁飾り
7	土用の丑の日・ステンドグラス（ひまわり）
8	暑気払い定食・夏祭り
9	お月見御膳・敬老祝賀会・サボテン植え替え・花瓶スタンド
10	秋の釜めし膳・秋の室内大運動会・さつま芋収穫
11	秋の味覚御膳・クリスマスの壁飾り
12	クリスマスランチプレート・ティッシュボックスカバー
1	焼き立て餃子（餃子の王将）絵馬・書初め・星のランプシェード
2	福を呼び込むちらし寿司ランチ
3	春満開御膳

（2）防災訓練

月	種別	内容
6	感染症 BCP 訓練	施設内で感染症が発生した場合の初動訓練 及びゾーニング及び必要物品の把握 各関連機関連絡網の確認。
10	夜間訓練	夜間、日祝日等職員の少ない場合を想定して、夜勤者・宿直者による通報、消火、避難訓練
3	日中訓練	日中の火災を想定した消火訓練 初期消火及び避難訓練。 担架を使用したの垂直移動訓練 消火設備の場所及び使用方法の説明

(3) 研修

特別養護老人ホーム

月	研修内容
4	新卒研修（人権、接遇、認知症ケア、事故防止、感染症、介護体験） 高齢者虐待防止研修（身体拘束・不適切ケアについて）
5	感染症及び食中毒の発生の及びまん延の防止に関する研修（感染症におけるゾーニング、正しいPPE着用について）、看取りケア研修、認知症サポーター養成講座
6	褥瘡予防研修（排便コントロール）、口腔ケア研修
7	事故予防研修
10	アンガーマネジメント研修
11	個人情報保護に関する研修
12	口腔ケア研修
1	身体拘束・高齢者虐待（不適切ケア）に関する研修
2	看取りケア研修
3	事故予防研修、身体拘束ゼロを目指して ～介護現場で身体拘束をせずに行うケアの工夫について～

通所介護

月	研修内容
4	「認知症」の方とのコミュニケーションのコツ
5	コーチング研修
6	介護技術に関する研修
7	接遇マナー
8	倫理法令順守について
9	事故発生予防又は再発防止に関する研修
10	認知症及び認知症ケアに関する研修（チームケア）・インフルエンザ
11	個人情報とプライバシーの保護・感染症、食中毒（ノロウイルス）
12	感染症及びまん延防止に関する研修
1	介護予防・要介護度進行予防について
2	身体拘束・虐待防止に関する取り組み
3	非常災害時・防災について

訪問入浴

月	研修内容
4	コロナウイルス感染症と感染対策について
6	ベッドから浴槽を想定した二人移乗介助、清拭技術
7	個人情報とプライバシーの保護
8	拘縮ケア技術
9	移動入浴車メンテナンス
10	拘縮ケア技術、オムツと肌トラブル
12	褥瘡予防

訪問介護

月	研修内容
4	食中毒予防
5	高齢者の薬&生活への影響
5	接遇（安心感を持ってもらえる接遇を目指そう）
6	熱中症対策
7	事故再発防止
8	認知症及び認知症ケア
9	プライバシー保護
10	感染症予防（インフルエンザ）
11	ノロウイルス食中毒
1	倫理・法令遵守
3	メンタルヘルスケア

居宅介護支援事業所

月	研修内容
5	介護保険事業者集団指導 在宅医療推進・多職種連携研修会 福祉用具勉強会 認知症サポーター養成講座 腰痛予防勉強会
6	地域他法人合同事例検討会
7	アルコール依存症研修会 地域包括ケア勉強会 地域医療支援病院研修会 食中毒勉強会 訪問リハビリについての意見交換会

8	居宅介護支援事業所部会研修 東大阪市との介護支援専門員の意見交換会
10	アンガーマネジメント研修
11	がん診療地域連携研修会 個人情報保護研修会 中地域居宅研修会 地域他法人合同事例検討会 在宅医療推進・多職種連携研修会
12	人権研修 地域医療支援研修会 パーキンソン病研修
1	在宅医療推進・多職種連携研修会
3	居宅介護支援事業所部会研修 多職種連携研修会

地域包括支援センター

月	研修内容
4	成年後見制度研修
5	認知症研修（認知症サポーター在宅部門職員）、腰痛予防研修 東大阪断酒会に参加
6	アンガーマネジメント研修、高齢者虐待対応研修（基礎研修）
7	生活支援コーディネーター現任研修、更生支援 大阪モデル
8	在宅医療推進研修、高齢者虐待対応現任者研修
9	地域包括職種別研修、更生支援 大阪モデル、後見と医療同意
10	認知症研修（認知症サポーター在宅部門職員） 今すぐ使えるフレイル予防、若年性認知症の診断と支援について
11	個人情報の研修会、睡眠に関するアセスメントケア CSW マイスター研修
12	高齢者虐待対応現任者研修、高次脳機能障害、認定調査員研修
1	支援困難ケース事例検討会
2	大阪府社会貢献事業研修
3	第13回若年性認知症フォーラム、精神障がい者支援の入り口を知ろう

全体研修（運営会議等で実施）

月	研修内容
12	虐待研修（法定研修）不適切ケアから考える高齢者虐待防止について

地域包括支援センター事業実績報告書

令和4年度年間合計	センター名	みのわの里	今年度新規相談実人員	467
相談件数	相談者と相談方法	身体状況		
高齢者増加対象 1468	本人 家族 CM その他 計	不調 未申請 申請中 自立	要支援 1 2	
増加対象外件数	151 219 57 1041 1468	12 198 136	540 470 1015	
相談件数合計	1468	要介護 1 2 3 4 5		
		要介護計		
		26 42 12 8 4 7 73		
		計 1468		
認知症相談件数	相談内容	相談内容及び申請代行		
171	訪問 来所 電話 計	介護保険 介護 福祉サービス 保健医療 家族関係		
	1433 34 1 1468	相談内容 1468 1468 4 65 64		
権利保護要請件数	家族形態	申請代行 133		
25	同居 独居 計	介護手帳 基本生活支援 その他 計		
うち虐待被害者数	908 500 1468	相談内容 6 2 45 3122		
21		申請代行 133		

サービスの状況と利用希望

	ホームヘルプ	デイサービス	デイケア	ショートステイ	訪問入浴	福祉用具	訪問診療	訪問看護	訪問リハビリ
利用率									
利用希望	52	202	23	5		134	14	41	20
	配食	住宅修繕	入所	予防プログラム	生活援助	知恵所	助け合い	つどい	短期集中
利用率									
利用希望		95	18	157					773

会議出席者	単位地域ケア会議		
	介護支援専門員	サービス事業者	医師
	医療機関職員	自治会	その他
	単自治域ケア会議 加算対象	加算対象	加算対象

地域ケア支援・生活支援コーディネーター 内訳

相談方法	訪問 来所 電話 FAX等 計	地域ケア支援個別相談対象	3				
	6 2 0 8	地域ケア支援集団相談対象	53				
相談者	高齢者 要介護 計	生活支援要請加算対象	6				
	6 0 6						
	介護支援専門員	サービス事業者	自治会	医療機関職員	福祉機関	学校機関	NPO法人
地域ケア(個別)					6	2	
地域ケア(集団)	6	15					
生活支援(集団)							
	ボランティア	自治会	福祉協議会	民生委員	老人クラブ	その他	計
地域ケア(個別)							6
地域ケア(集団)		9	4	9	1		46
生活支援(集団)				3	1		4

認知症支援				
認知能力 フェーズ (軽)	軽(軽度) 26(軽度)	軽(中重度) 26(中重度)	認知症 加算対象	計
13	4			17

高齢者生活支援等会議						
地域活動団体				福祉・介護職		
自治会	地区福祉委員	民生委員	老人クラブ	在宅介護支援	訪問介護	通所介護
1	1	1	1	1	1	1
医療機関				その他		
医師	歯科医師	薬剤師	その他	計		
		1	1	9		
高齢者生活支援等会議加算対象						1

実施した支援-内容

地域ケア支援(個別-集団)					
ケアマネサポート支援	ソーシャルワーク援助	情報提供	通所支援	その他	計
個別		1	1	0	10
集団	1	2	2	21	53
生活支援コーディネーター活動(集団)					
生活支援の問い合わせ対応	生活支援の問い合わせ対応	総合支援の相談対応	助成金の事務処理	計	
集団	3			3	

社会資源マップ作成	
社会資源マップ加算対象	

第1層への課題提示	
第1層への課題提示加算対象	

地域介護予防推進事業等実績報告書(集計表)

令和4年度年間合計

支援センター名

みのわの里

地域介護予防活動支援

相談・支援件数	
総件数	
	うちグループ 活動支援
4	4

グループ種別					
老人 クラブ	校区福祉 委員会	自治会	老人の ボランティア	その他	計
3	1				4

相談方法				
訪問	来所	電話	その他	計
3		1		4

教室実施状況

開催件数	
介護予防教室 開催件数	60
家族介護教室 開催件数	5

【1】施設運営を振り返って

- (1) 経営状況の分析や対策、事業計画の進捗状況を毎月会議で検討と実践をしているかを確認し、既存のサービスの見直しを行って参りましたが、事業によっては当初予算収入に達することが出来ず、安定した財務基盤の回復までには至りませんでした。その中でも出来る限りの収益改善に取り組み、新たな加算算定要件を満たし加算取得をいたしました。
- (2) サービスの質の向上をするために、人員体制の整備については採用計画に基づいた配置には至らず派遣職員でカバーする1年となりました。
 福祉に求められる職員像としての人材育成は職責から人事考課を実施、可能な限りOJT、OFF-JT、SDSにより研鑽いたしました。事業によってはOJT等が未実施となりました。
- (3) 災害計画による地域の方々の参加の災害訓練等や、運営推進会議等により地域の方々と可能な限り交流する機会を持ちました。
 交流の場では新型コロナ禍で過ごされた地域の方々の生活の変化や現在の課題をお伺いすることができ、今後の地域活動に向けての意見交換をいたしました。
- (4) 当法人内の事業所と情報共有を行い、新たな加算の取得をすることで、ご入居者やご利用者へサービスの質の向上をいたしました。
 記録等については介護ケア記録システム（ブルーオーシャンシステム）や資料の紙媒体からデータ保存へ変換するなど業務効率の改善に取り組みをいたしました。
- (5) 新型コロナ感染の影響はありましたが、子育て支援の地域団体から相談を受けて10月にハロウィン行事を共同で開催する等、新型コロナ感染状況を随時確認しながら相談しやすい拠点づくりをいたしました。

【2】数値目標と実績

事業名		稼働率等	収入達成率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠点	目標	—	100%	69.2%	25.2%	3.4%	2.2%
	実績	—	100.2%	67.5%	25.1%	2.8%	4.4%
特養	目標	94.4%	100%	64.8%	29.4%	4.9%	1.0%
	実績	93.6%	105.6%	58.8%	29.3%	4.0%	7.8%
短期入所	目標	85.0%	100%	60.1%	23.7%	1.2%	15.0%
	実績	68.1%	87.1%	69.2%	23.6%	0.6%	6.4%
通所	目標	77.0%	100%	66.3%	19.6%	2.6%	11.4%
	実績	69.5%	91.0%	68.5%	20.5%	2.7%	8.1%

認知通所	目標	58.0%	100%	83.9%	17.9%	0.1%	△1.8%
	実績	42.1%	79.9%	128.1%	20.8%	0.1%	△49.1%
グループホーム	目標	99.0%	100%	72.8%	23.4%	3.5%	0.3%
	実績	96.7%	103.9%	65.7%	24.4%	0.3%	9.4%

訪問介護	目標	2883 件	100%	120.9%	8.0%	0.9%	△30.0%
		1 日 2.8					
訪問介護	実績	2459 件	96.3%	126.2%	8.3%	1.2%	△35.9%
		1 日 2.5					
居宅介護	目標	1848 人	100%	92.7%	7.3%	1.3%	△1.2%
		1 人 38.5					
居宅介護	実績	1853 人	99.8%	92.0%	5.3%	1.4%	1.0%
		1 人 38.6					
介護予防	目標	3170 人	100%	33.4%	46.3%	2.0%	18.2%
		1 人 52.8					
介護予防	実績	2939 人	94.3%	36.8%	43.4%	3.0%	16.5%
		1 人 40.8					
地域包括	目標	11.8 件	100%	112.8%	13.9%	0.7%	△27.4%
	実績	17.3 件	105.9%	106.9%	10.6%	0.3%	△17.8%

【3】事業計画の実施状況

(1) 特別養護老人ホーム

- ①紙媒体からブルーオーシャンへの移行は相談員より開始し、使用方法の統一をいたしました。介護現場に関しては担当者を配置し、担当者が使用方法を把握したのち全体へのマニュアル周知、使用方法を統一いたしました。順次マニュアルに沿って移行し、現在は業務日誌、事故報告書等全ての移行が完了いたしました。個人記録の転記等もなくなり業務改善いたしました。
- ②資格の取得については4名の職員が介護福祉士の資格を取得し、目標は達成いたしました。研修については看取り介護の基礎となる部分を内部研修で実施。研修内容の伝達方法や周知の仕方についても新しく取り入れた動画研修を実施した事で、研修に参加出来なかった職員は後日動画を観て内容を把握いたしました。職員教育については時間の確保が難しい(人員不足のため)現状でも指導をする側が効率よく次の段階にステップアップ、スキルアップ出来るようにするため、引き続き現状の見直しを行って参ります。
- ③入所待機者の整理を行うと同時に入院者の状況を確認しながら、空床期間を短縮できるよう調整いたしました。当施設や入所前施設にてコロナ感染が発症し

たこともあり延期になる等の影響もあり空床率2.1%となり、昨年度より0.3%増となりました。

短期入所からの特養入所や入所待機者のショートのご利用、入院ベッドの活用等継続的に短期入所相談員と連携をとりながら取り組みをいたしました。

(3) 通所介護

①機能訓練指導員がご利用者宅に訪問して家屋調査を行い、目標に合わせた個別機能訓練計画を作成、実施をいたしました。見直しについても定期的に行い、ご利用者の心身機能向上をいたしました。来年度も他事業所との連携により、ご利用者のADL維持向上をいたします。

②研修は新型コロナ感染症発生もあり参加できない時期がありましたが、年間を通して必要とされる研修に参加いたしました。他の職員については伝達機会を設け、職員のスキルアップに務めて参りました。

(4) 認知症対応型通所介護

①新型コロナの感染状況を確認しながら運営推進会議を年間6回計画し、オンライン開催1回を含め5回の開催をいたしました。会議では校区福祉委員や地域包括職員から現在の地域の実情や情報をリアルタイムにお伺いをし、参加メンバーで情報の共有や検討をいたしました。また、運営推進会議の参加メンバーであるボランティアグループメロンクラブ様との交流については新型コロナ感染の影響のため、ボランティア活動が出来ていなかったデイサービスの活動を再開いたしました。

②認知症対応型の特色として、昨年引き続き施設通貨や園芸活動に力を入れ、ご利用者の意見を取り入れながらより充実したものになるようご支援をいたしました。その他、新型コロナの感染状況を見ながらグループホームとの合同行事や定期的な交流を積極的に行いました。また一般型通所介護とは別に、認知症対応型独自の行事も開催いたしました。活動した内容はブログや活動報告により居宅介護支援事業所やご家族に向けて積極的に情報発信をいたしました。

(5) 訪問介護

①ご利用者40名を目指しながら稼働率・実績向上に取り組んできましたが、年間平均32名、稼働率85%となり、目標未達成となりました。

②各職員に定期的にOJT・OFF-JTを行い介護技術・サービスの向上と情報共有いたしました。

③介護保険適応外サービスを提供し、不安なく在宅生活を過ごして頂けるようご支援いたしました。介護保険適用外サービスのPR活動をいたしましたが、利用件数増加にはいたりませんでした(固定利用1名・定期的1名)。

(6) 居宅介護支援事業所

①地域からの相談に迅速に対応できるように、事業所内で現状の情報を共有し、

近隣の地域包括支援センターと連携を図り、地域のニーズに応えられるよう努めました。

- ② 医療機関からの退院や施設からの退所の際に、医療系介護サービスとの連携により重度の方でも在宅復帰支援ができるようになりました。
- ③ 事業所内で定期的に会議を開催し、支援方法に悩むケースの相談や検討をいたしました。相談援助のスキルアップの為、外部研修、WEB研修など積極的に参加し、研修で学んだことを事業所内で伝達し自己研鑽いたしました。
- ④ 他法人と合同勉強会で地域のケアマネージャーとのつながりも大切にし、地域の社会資源の情報共有をいたしました。また、今年度は地域包括支援センターの事例検討会にも多く参加し、CMのスキルアップにもつながりました。

(7) 地域包括支援センター

①地域包括支援

- ・第2層協議体会議について、今年度もコロナ禍であり、感染拡大時は開催を見合わせながらも、高齢者生活支援等会議は3回の開催いたしました。第2層生活支援コーディネーターとして地域の課題抽出をいたしました。来年度も、福祉・介護専門職の方々の任期継続が決定しており、今まで取り組んできた会議での課題と新たな課題を話し合い、地域で対応し解決できるよう取り組んで参ります。
- ・認知症についての理解を促進するため、認知症サポーター養成講座は1回開催いたしました。きつずサポーター養成講座はコロナ禍で小学校での開催が難しく、開催できませんでしたが、中学校では開催いたしました。来年度は、小中学校と実施可能な時期に開催を相談検討いたします。
- ・今年度、居宅介護支援事業所や警察、民生委員から虐待や家族問題の相談、特に、警察からの認知症高齢者等支援対象者の情報提供が増えており、速やかに支援いたしました。
- ・多職種連携研修会においては、今年度はオンラインと会場のハイブリッドで開催し、居宅介護支援事業所や介護事業所、調剤薬局から多数の参加があり、学びの機会をつくり、多職種間の情報共有を図りました。
- ・地域の会館をお借りし、介護予防教室・家族介護教室を開催し、地域の介護予防等に努め、また、地域のサロンやグループ活動の後方支援もいたしました。

②介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援

今年度も事業計画通り、ほぼ実施できました。目標の数値も超えることができ、引き続き介護予防サービスや介護予防・生活支援サービスなど自立支援に向けて必要なサービス調整を行ってまいります。

(8) グループホーム真寿庵

- ①自立支援サービスが維持できるよう一人一人のニーズや目標を会議で話し合

い、日常生活の支援や機能訓練などのサービスをいたしました。
地域活動として地域清掃や自治会の公園花植えの参加ができなかったが、中庭での健康体操や子育てサークル行事の参加で地域交流をいたしました。
コロナ禍で家族交流の機会が減ってしまいましたが、月に1回以上生活状況等の内容を連絡することで、ご家族・関係者と情報共有をいたしました。

- ②外出の機会が減ったことで体力低下や心身の状態の変化があり、職員不足により満足のいくレクリエーションを行うことができず自主性や能力を伸ばせるような個別支援にいたりませんでした。他職種と連携することで身体状況の把握とADL維持向上のための目標をたて、重度化していく入居者が住み慣れた地域で生活できるよう支援いたしました。
- ③研修等について新型コロナウイルス感染症拡大や職員不足で実施できない月もあったが年間計画に基づき研修を行い、会議で研修報告をし、報告書を周知することで職員伝達に努め知識向上をいたしました。

【4】施設の課題

(1) 財務基盤の安定化

- ・収入は各サービス事業の運営について令和4年度の下半期から改善傾向にありましたが、令和5年1月9日から特養の新型コロナウイルスの影響により令和4年2月～3月にかけて大きく収益を落とすことになり、収入の改善までには至らなかったため、引き続き事業計画に沿って改善に務めてまいります。
- ・支出は予算に対して法人の経費削減対策や、業務改善と並行して施設内でも見直した結果、人件費は採用計画に基づいた配置が出来ずに削減となり経費は物価や光熱費の高騰、修繕箇所が増加も発生しておりますので引き続き事業計画に沿って改善に務めてまいります。

(2) BCPに基づく災害訓練、感染対応訓練等の活動とBCP内容の見直し

- ・防災災害対策委員会を中心に地域の方々が参加する予定の災害訓練や感染対応訓練を計画に入れて実践いたしました。災害や感染症対策のBCPの内容の見直しが未実施であったため、次年度に引き継いで実践してまいります。

(3) 人材採用・育成

- ・採用計画に基づいた配置に至らず派遣職員にてカバーをする1年となりました。育成については職責の人事考課の実施や前年度と比較して研修機会(特にOFF-JT)はWEB研修の実施に加え、対面研修の参加も多く設けられましたが、OJTの時間を設けることが出来ない部署もあり課題となりました。次年度はすべての職務について人事考課を開始する予定になっておりますので、人事考課が形骸化することなく職員のキャリアパスに繋がるような取り組みをいたします。

【5】付表

(1) 年間行事

特別養護老人ホーム

月	行事開催表	委員会活動
4	・日新高校桜まつり (中止)	・広報委員会 (月1回)
5	・春の外出 (中止) ・母の日行事 (中止) ・DVD鑑賞会 (中止)	・給食委員会 (3ヶ月1回) ・環境美化委員会 (2ヵ月に1回) ・防災災害委員会 (月1回) ・車輛・事故管理委員会 (2ヶ月に1回) ・感染予防委員会 (3ヶ月に1回)
6	・春の外出 (中止) ・父の日行事 (中止)	・褥瘡委員会 (2ヶ月に1回) ・苦情検討委員会 (3ヶ月に1回)
7	・花火大会 (中止)	・事故対策委員会 (月1回)
8	・夏祭り (中止)	・職場研修担当者会議 (必要時)
9	・敬老祝賀会 (9月21日)	・入所判定委員会 (月1回)
10	・秋の外出 (中止) ・ハロウィン (中止)	・衛生委員会、ハラスメント対策委員会 (月1回) ・身体拘束廃止委員会 (月1回)
11	・ファミリー祭り (中止)	・社会貢献推進委員会 (3ヶ月に1回) ・看取り委員会 (月1回)
12	・ゆず湯 (12月22日、23日) ・クリスマス会 (12月24日)	・虐待防止委員会 (3ヶ月に1回)
1	・元旦祝賀会 (中止) ・初詣(中止)	クラブ活動等 ・家庭科クラブ (週1回) ・ヨガクラブ (毎月)
2	・節分 (中止) ・バレンタイン (中止)	・化粧クラブ (毎月) ・誕生日会(毎月) ・訪問販売(毎月)
3	・ひなまつり (中止)	・ホーム喫茶 (日曜日以外) ・ショートレクリエーション(毎月)
※誕生会食は毎月提供しています。		

※行事の中止はコロナ感染拡大防止のため。また、各種委員会、クラブ活動等においても同様の理由で中止になっている期間があります。

通所介護

月	行事内容
4	桜の花見・春キャベツの一銭焼き・お楽しみ会・季節食
5	買い物ツアー・季節食
6	季節のデザート（プリンアラモード）・季節食
7	季節のデザート（パフェ）・お楽しみ会・季節食
8	夏祭り・季節食
9	敬老会・演奏会・季節食
10	じゃがバター・お楽しみ会・季節食
11	焼き芋・季節食
12	クリスマス会・お楽しみ会・季節食
1	新年会・初詣・ぜんざい・季節食
2	たこ焼き・季節食
3	甘酒・季節のデザート（パンケーキ）・季節食

グループホーム

月	行事内容
4	花見（認デイ交流）、布市菜園苗植え（認デイ交流）、クラブ活動（2回）、理美容行事内容
4	ピクニック、クラブ活動（2回）、理美容、ヨガ教室
5	ピクニック、クラブ活動（2回）、理美容、ヨガ教室
6	運動会（認デイ交流）、クラブ活動（2回）、理美容、ヨガ教室
7	七夕祭り、お誕生日会、クラブ活動（2回）、理美容、ヨガ教室
8	夏祭り（認デイ交流）、お誕生日会、クラブ活動（2回）、理美容、ヨガ教室
9	敬老会、クラブ活動（2回）、理美容、ヨガ教室
10	焼き芋の会（認デイ交流）、健康体操クラブ（認デイ交流） クラブ活動（2回）、理美容、ヨガ教室
11	紅葉（加納公園）、クラブ活動（2回）、理美容、ヨガ教室
12	クリスマス会、お誕生日会、ヨガ教室、理美容
1	元旦祝賀会、お誕生日会、理美容
2	節分、お誕生日会、クラブ活動（2回）、理美容
3	スイーツバイキング、お誕生日会、クラブ活動（2回）、理美容、ヨガ教室

(2) 防災訓練

月	内容
4	職員と3階ご利用者を対象とした避難誘導訓練
6	施設職員、デイサービス利用者を対象にした消火訓練
11	消火器の取扱い説明及び実践
12	夜間帯における火災の発生を想定した通報・避難訓練
2	夜間帯における火災の発生を想定した通報・避難・消火訓練 (消防署立ち合い)
3	HUG(避難所運営ゲーム・学校バージョン)を用いた、 災害想定シミュレーション

※コロナ感染拡大防止のため、年間計画から変更した内容になっています。

(3) 研修

特別養護老人ホーム

月	研修内容
6	人権研修
7	看取りケア研修 感染症・食中毒予防対策講習会
9	「認知症と栄養」をテーマにしたセミナー 口腔ケア研修
10	身体拘束・高齢者虐待防止についての研修 栄養士研修会
11	栄養セミナー 事故予防についての勉強会
1	口腔ケア研修
2	高齢者虐待・人権についての勉強会
3	事故予防についての勉強会 人権・身体拘束についての勉強会

通所介護

月	研修内容
4	安全運転研修（アルコールチェック）
7	高齢者虐待防止法に基づく対応について
8	高齢者虐待の理解と防止
9	個別機能訓練の取り組み・人権研修
10	高齢者虐待防止と不適切なケア・感染症について
11	認知症実践者研修・高齢者虐待防止と不適切なケア
12	認知症実践者研修
1	事故発生時の対応
2	倫理・法令研修
3	安全運転講習・接遇マナー・高次機能障害について 権利擁護・成年後見制度研修

訪問介護

月	研修内容
4	接遇・マナー研修
5	コロナ対応マニュアル研修
6	摂食嚥下について研修
7	高齢者の熱中症対策について研修
8	認知症及び認知症ケアに関する研修
9	訪問介護のプライバシー保護研修の基礎知識
10	訪問介護の緊急時対応とマニュアルを理解する研修
11	事故発生防止に関する研修
12	人権研修（高齢者虐待ってどんな行為）
1	腰痛予防研修
2	コミュニケーション技術研修
3	訪問介護におけるルールや制度

グループホーム

月	研修内容
4	身体拘束適正化の為の研修（不適切ケアについて）
5	感染症の予防及びまん延防止の研修（スタンダードプリコーション）
6	事故防止・リスクマネジメント研修（事故予防の考え方）
10	認知症・高齢者研修（高齢者ケアの基本と認知症の疾患と症状について）
11	業務継続計画についての研修（意味や目的についての理解を深める） 身体拘束適正化の為の研修（不適切ケアの事例）
3	高齢者虐待防止研修 高齢者虐待防止・身体拘束適正化の為の研修（新人職員） 業務継続計画についての研修（意味や目的についての理解を深める）

地域包括支援センター事業実績報告書

NO.9

令和4年度年度区分

センター名 布市福寿苑

今年度新規相談実人員 493

相談件数

実数把握対象	1570
把握対象外件数	
相談件数合計	1578

認知症相談件数 128

後援機関等 件数	20
うち連携関係件数	17

相談者と相談方法

本人	家族	GM	その他	計
271	247	35	1025	1628

訪問	来所	電話	計
1521	56	1	1578

相談形態

来談	他談	計
1032	546	1578

身体状況

不明	未申請	申請中	自立	要支援		要介護計	
				1	2		
2	272	43	21	508	381	887	
総合連携							
総合連携	1	2	3	4	5	総合連携計	
	168	78	16	4	3		4
						計	1578

相談内容及び申請代行

	介護保険	介護	福祉サービス	保健医療	非介護関係
相談内容	1509	81	9	48	27
申請代行	210				
	介護保険	基本ケア その他	その他	計	
相談内容	37	1	401	2119	
申請代行				210	

サービスの状況と利用希望

	ホームヘルプ	デイサービス	デイケア	ショートステイ	訪問入浴	福祉用具	訪問診療	訪問看護	訪問リハビリ	
認知症										
利用希望	43	157	7	7		101	4	20	17	
	就業	介護改善	入浴	手動プラン	生活援助	福祉用具	旅行旅行	つどい	短期集中	計
認知症										
利用希望	8	40	6	104				4		58

単位地域ケア会議

介護支援 専門員	サービス 事業者	医師
高齢者 職員	自治会	その他
認知症 ケア会議 出席者	出席	欠席

地域ケア支援・生活支援コーディネーター 内訳

相談方法

訪問	来所	電話	FAX等	計
14	1	11		26

地域ケア支援
個別相談対象 26

地域ケア支援
集団相談対象 51

相談者 12

生活支援関係相談対象 75

	介護支援 専門員	サービス 事業者	自治会	医療機関 関係職員	福祉施設	学校職員	NPO法人
地域ケア(個別)	6	1		5	14		
地域ケア(集団)	3				1		
生活支援(集団)							
	ボランティア	自治会	地区福祉 委員	民生委員	老人クラブ	その他	計
地域ケア(個別)							26
地域ケア(集団)		1			3	42	50
生活支援(集団)					1	74	75

認知症支援

認知症 ケア会議 出席者	出席	欠席	計
	2		2

高齢者生活支援等会議

地域活動団体				福祉・介護関係			
自治会	地区福祉委員	民生委員	老人クラブ	認知症 支援	訪問介護	通所介護	
3	3	3	3	3	3	1	
関係機関				その他		計	
医師	福祉施設	福祉施設	その他				
3	3	3	1			28	
						高齢者生活支援等 会議出席者	3

実施した支援・内容

地域ケア支援(個別・集団)

ケアマネ メント支援	グループ ワーク 援助	情報 提供	課題 支援	その他	計
個別	3	1	3	9	14
集団			46	2	5
生活支援コーディネーター活動(集団)					
生活支援の 即・手 動状況確認	生活支援 の即・手 動支援	社会 事業の 利用 説明 等	取組 の 事例 発表	計	
集団	75			75	

社会資源マップ作成

社会資源マップ制作対象	
-------------	--

第1層への課題提示

第1層への課題 提示対象	
-----------------	--

地域介護予防推進事業等実績報告書(集計表)

令和4年度年間分

支援センター名 布市福寿園

地域介護予防活動支援

相談・支援件数	
総件数	
	56グループ活動支援
31	20

グループ種別					
老人クラブ	地区福祉委員会	自治会	老人のボランティア	その他	計
				31	31

相談方法				
訪問	来所	電話	その他	計
26			5	31

教室実施状況

開催件数	
介護予防教室開催件数	50
家庭介護教室開催件数	3

【1】施設運営を振り返って

令和4年度事業運営を振り返り、4つの施設方針の下、地域における枚岡の里の役割が果たせるように施設入所サービス、短期入所療養介護の事業を行いました。

まず昨年度の課題とした稼働状況の改善については、各専門職が取組むべきことに取り組み、連携、協力することにより前年度から3%改善し、目標を達成しました。

「ご利用者の人権を守り、尊重したケアを行う」「健康と安全で安心した生活を提供する」「心身の機能の改善と維持」は老健施設に求められる最低限の役割であり、求められるニーズと考えます。

実績だけでは図ることが出来ませんが、前年度から入院者が減少し、事故の件数は年々減少しています。また要介護度状態についても改善している等、令和4年度は老健施設としての役割を全う出来たと評価しています。

一方で、「地域との関わり」や「サービスの質とQOL」について、改善すべき点が多く課題が残ります。

この先「質」と「満足度」を追求していくにあたっては人材の確保や育成、定着は必須ですが、職員の気付きを養い、想像や思考を豊かにしていくことができるコミュニティや教育が最も重要と考えます。次年度以降もご利用者に喜んでいただける施設作りに努めます。

【2】数値目標と実績

事業名		稼働率等	収入達成率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
老 健	目標	93.0%	100%	60.0%	25.7%	10.1%	4.2%
	実績	93.8%	104.7%	55.7%	25.4%	8.9%	10.0%

※償却費率は減価償却費から国庫補助金等特別積立金取崩額を引いた額が分子

【3】事業計画の実施状況

(1) 前年度大きく改善した在宅復帰率でしたが、更なる改善には至らず、結果的に前年度を下回りました。

在宅への退所者は変化なく、入院による退所者が減少。

一方で施設への退所者が前年を大きく上回ったことが低下した大きな要因となりました。

この結果から課題が明確になりましたので検討を行い、改善に努めます。

(2) リハビリテーションではIT機器を導入し能力の向上、転倒予防に努めました。

IT機器を用いて訓練を行っているご利用者は転倒することなく経過しており、これからの効果にも期待が持てます。

また行事やレクリエーション等の機会を増やし、QOLの改善に努めました。

(3) 看取りケアを行える体制を整えていますが、看取り期を迎えられた対象者がおらず関わりを持つことなく一年を終えました。

一方、ご利用者やご家族からのニーズに応える事が出来るように入職者への研修、情報共有や検討を続けてきました。

(4) 職員教育の一つとして意図的且つ計画的に行っていたOJTですが、継続的に行うことにより風土として芽生え、職員の指導、育成、定着に一定の効果を得たと考察しています。

介護ソフトを本格的に使用開始し、業務効率の改善や情報共有の強化を実施しました。

業務改善で出来た時間は、ご利用者へのサービス提供に繋げることが出来ました。

(5) 非常災害時の備えとして、備蓄保存食や保存水の入替えを行いました

また非常災害時に土砂災害が発生することを想定し、ご利用者にも参加していただき、垂直移動訓練や水平移動訓練、情報伝達訓練を行いました。

【4】施設の課題

今年度は目標とした稼働率を達成しましたが、安定した施設運営を展開していくためには引き続き次年度の目標達成に向け、体制を整備し、目標を明確にしていく必要があります。

今年度は新たに取得した加算が無いのに対し、取下げることになった加算があり、サービス向上のためには再取得又は新規加算取得が優先すべき課題であり、目標と捉えています。

次に老健に求められる機能である在宅復帰率について課題を残します。

在宅復帰することへの喜びや達成感を施設全体で共有出来ておらず、職員が持つ能力を存分に発揮出来ていません。

在宅復帰率を向上させていくためには、総合的な調整力に加えて、職員の持つ能力を存分に発揮させることができるマネジメント力が必要ですが不足しており、いずれも経験やOJTから今後学びを得ていく事が重要になります。

また、ご利用者へのサービスの質やQOLへの課題も残ります。

施設でご利用者の満足度を追求すること、情報収集から思考や想像力を高め、創意工夫していくが必要になると考えます。

最後は地域との関わりへの課題です。

新型コロナウイルス感染症流行を機に地域との関りが希薄化している現状です。

自治体や老人会、学校、保育、福祉などの地域コミュニティとの関り方、また当施設が地域に存在する意味を考えていかななくてはなりません。

市民活動への参加、自施設で健康教室を行う等のアプローチに課題が残る1年となりました。

【5】付表

(1) 年間行事

月	行事内容
4	花見行事・貼り絵による創作行事・里喫茶・誕生日会
5	おやつ行事・里喫茶・誕生日会
6	創作行事・里喫茶・誕生日会
7	七夕行事・料理クラブ・里喫茶・誕生日会
8	おやつ行事・料理クラブ・誕生日会・里喫茶
9	敬老祝賀会・料理クラブ・誕生日会・里喫茶
10	おやつ行事・料理クラブ・里喫茶・誕生日会
11	おやつ行事・里喫茶・誕生日会
12	クリスマス会・里喫茶・誕生日会
1	元旦祭・里喫茶・誕生日会
2	おやつ行事・料理クラブ・里喫茶・誕生日会
3	雛祭り・料理クラブ・里喫茶・誕生日会

(2) 防災訓練

月	訓練内容
6	非常災害訓練（情報伝達訓練・避難訓練）
8	日勤帯想定防災訓練（避難訓練・消火訓練）
10	消火訓練
2	3施設合同夜間帯想定防災訓練（通報・避難・消火訓練）

(3) 施設内研修

月	研修内容
4	苦情対策研修
5	食中毒予防研修
6	口腔ケア研修
7	人権研修
8	救急救命講座
10	感染症（ノロウイルス・インフルエンザ・コロナウイルス）研修
10	高齢者虐待防止研修
10	看取りケア研修
11	感染症対策研修
11	褥瘡対策研修
3	安全対策研修
入職時	感染症対策研修・身体拘束虐待研修 安全対策研修

(4) 施設外研修

月	外部研修内容
6	介護現場におけるリスクマネジメント
7	認知症ケア 専門職としてのケアの磨き方
7	移乗介助の基礎知識と介助技術
8	感染予防対策と感染症知識
10	栄養士研修会
10	口腔ケアにおける感染予防対策
10	認知症ケア 初級編
10	LIFEにおける取り組み
11	介護現場におけるリスクマネジメント
3	栄養士研修会
3	身体拘束ゼロ 介護現場で身体拘束しないケアの工夫

【1】施設運営を振り返って

今年度も全国的に新型コロナウイルスの感染が広がるなか、感染予防を第一に日々の事業運営に取り組んでまいりましたが、当施設においても2度のクラスターが発生し、ご利用者・ご家族及び地域の皆さまにご心配とご迷惑をお掛けすることとなりました。

質の高いサービスを提供できるように人材育成に注力してまいりました。

職員研修において各専門分野の知識・技術を他職種に伝達することを目的に、介護・看護・リハビリ職員が講師となる研修を多く取り入れました。

包括ケアをめざし介護老人保健施設としての機能向上、地域関連機関との連携強化に取り組んでまいりました。

新型コロナウイルスの影響で交流が制限されることが多いなか、リモートを活用し地域関連機関と連携を行うことで、スムーズに当施設のサービスをご利用いただくことができました。

当施設が有する3つの機能「入所サービス」「通所サービス」「居宅介護支援サービス」の連携をより強化することで、必要な時に必要なサービスを提供できるように努めてまいりました。

【2】数値目標と実績

事業名		稼働率等	収入達成率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠 点	目標	—	100%	64.3%	27.7%	4.0%	4.0%
	実績	—	99.2%	62.6%	24.7%	4.4%	8.2%
老 健	目標	95.0%	100%	62.2%	30.6%	4.6%	2.6%
	実績	93.6%	100.5%	59.2%	27.5%	5.0%	8.4%
通 所	目標	75.0%	100%	70.7%	21.1%	2.0%	6.2%
	実績	68.0%	91.2%	74.6%	17.2%	2.9%	5.3%
居宅介護	目標	2312人 1人39.1	100%	77.1%	4.2%	0.9%	17.8%
	実績	2180人 1人37.6					

※償却費率は減価償却費から国庫補助金等特別積立金取崩額を引いた額が分子

【3】事業計画の実施状況

(1) 介護老人保健施設

- ①介護老人保健施設の機能と特色を活かし、在宅復帰に向けての支援を強化します。(目標：在宅復帰率20%)

実施状況

入所される場合には入所前後に自宅を訪問し、ご利用者及び家族の希望・ご利用者の能力を把握、在宅復帰に係る目標を設定し、多職種のもと施設サービス計画を策定してまいりました。また、積極的な個別カンファレンスを実施し、在宅生活を想定したリハビリを実施してまいりました。年間の在宅復帰率については、18.6%となり、目標数値を達成できませんでした。

- ②介護老人保健施設として安定した経営を継続していくために各種活動を実施いたします。

実施状況

より多くの方に入所していただけるように、ベッド回転率5%と稼働率95%を目標として取り組んでまいりました。

コロナ禍のなか、できうる範囲で関連機関への訪問の実施やリモートを活用しながら、情報収集や営業活動を行いました。リハビリや食事など施設での生活の様子をブログや動画などで可視化するなど情報発信に力を入れてまいりました。結果、ベッド回転率は5.7%と目標を達成することができました。稼働率につきましては、93.6%と目標を達成することはできませんでしたが、多くの方にご入所していただけたと思っております。

- ③ご利用者の健康管理に努めます。

実施状況

令和4年7月と12月の2度、クラスターが発生いたしました。関連機関や他多職種と連携することで、感染拡大を最小限に留めることができました。

この経験をもとに感染症について、常に新たな情報を取り入れ、感染症予防に係る体制及びマニュアルの整備を行い、更なる感染症予防に努めております。

経験をもとに感染症BCPの整備も行い、それをもとに感染症発生時訓練を実施いたしました。

- ④地域福祉の拠点となるような包括的なサービスの提供に努めます。

実施状況

併設の居宅介護支援事業所・通所リハビリテーションとの連携強化を図り、ニーズに合わせて包括的なサービスの提供を行えるように取り組みました。

- ⑤ご利用者の安心安全に施設生活を過ごしていただけるように生活環境を整えていきます。

実施状況

昨年度に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大のため、地域との交流や外部ボランティアを招いての行事がほとんど実施できませんでしたが、10月に地域で開催された秋祭のだんじり見学を実施いたしました。

行事に関しましては、大規模なものは行えませんが、感染症対策を行ったうえで、「食」をテーマにご利用者楽しんでいただける企画を立案・実施いたしました。

⑥安全で快適な食事の提供に努めます。

実施状況

毎月、委託給食会社と合同の会議を開催し連携を図りながら、行事の企画や季節感を大切にされたメニューなどを検討し、ご利用者に満足していただけるように努めました。

⑦施設職員の職務能力の向上と意識改革を行い、ご利用者の意向に寄り添ったサービスを提供します。

実施状況

職員のスキルアップのため、月1回実施しております職員研修の見直しを行いました。グループでの事例検討や実技指導を多く取り入れ、職員のスキルアップを図り、ご利用者・ご家族に安心していただけるような質の高いサービス提供が行えるよう努めました。

⑧ご家族とご利用者の繋がりを大切にします。

新型コロナウイルスの感染状況を見ながらではありますが、直接面会を実施する機会を設けるようにしてまいりました。

時間や回数など制限はあるなかではありますが、ご利用者への感染を防ぐことを第一としていることをご家族にもご理解いただき、実施することができました。また施設生活の様子をお伝えするために行事などの写真をご家族に送付し、お元気な姿を見ていただきご安心いただけるように努めてまいりました。

(2) 通所リハビリテーション

①心身機能の維持回復を図り、日常生活の自立を助けるために行われる理学療法・作業療法、その他必要なりハビリを提供し介護・看護・療法士など多職種でご利用者の生活を支援していきます。

実施状況

自立支援を目標に、ご家族・担当ケアマネジャーと連携を図りながら、ご利用者の生活ニーズ及びそのニーズを達成するための課題抽出に注力してまいりました。そして、サービス利用時だけでなく、ご自宅でも自主的な運動ができるように、個別のトレーニング内容を提案いたしました。その自主トレを楽しくできるように、また職員と協働で実施していることを実感いただけるように

実施カードを作成し、トレーニング成果を共有いたしました。

稼働率6.8%と目標の7.5%には届きませんでしたが、コロナ禍のなか、感染対策を行いながら、新しいサービス提供の形を職員とご利用者協働で作上げることができた1年でありました。

②職員のスキルアップ及び人材育成に取り組みます。

実施状況

外部研修への職員の派遣は行うことができませんでしたが、ご利用者の機能訓練を提供するにあたり、介護士が療法士より積極的に指導を受けるなどし、サービスの質の向上に努めてまいりました。

定期的に上司と部下とで面談を実施しました。そのなかで、個人目標の設定や目標達成に向けての指導や振り返りを行いました。またその中で学びたいことや苦手な分野の聴き取りを行い、それを内部研修のテーマにするなど面談で得た情報を活用することで、事業所全体のレベルアップに繋げることができました。

③業務改善を積極的に行い、働きやすい職場環境作りに取り組みます。

実施状況

業務内容の見直しを実施し、個人業務のやり方・時間の作り方の改善を行い、出来る限り決められた時間内に個人業務が終える事ができるようにすることで残業時間を減らす事ができました。

④安定した経営を継続していくために各種活動を実施してまいります。

月1回の営業を継続して実施するとともに、担当ケアマネジャーとご利用者の支援状況や希望されるサービス内容などについて確認を行いながら、在宅介護のニーズに応えられるようにしてまいりました。

また、提供するサービス内容について施設広報紙やブログを通じて積極的に外部発信をするように努めてまいりました。

(3) 居宅介護支援事業所

①ご利用者、ご家族に本当に喜ばれ、価値のある働き方を実施します。

実施状況

今年度は在籍職員を2名増員したことで、より多くの方の在宅生活継続のご支援をさせて頂くことができました。

増員や退職などでご利用者に対して不安を与えるようにこともありましたが、令和4年12月から令和5年1月にかけて実施いたしました「ご利用者満足度アンケート」では9割方ご満足いただけた結果となりました。反面、「1割の方が満足されていない」という結果となっていますので、原因究明を行い改善できるようにしてまいります。

②地域に信頼される事業所を目指し、諸機関と連携を深めていきます。

実施状況

新型コロナウイルスの影響もあり、地域の諸機関と顔を合わせられる機会が少なかつた。

そのなかで併設事業所である介護老人保健施設と通所リハビリテーションとの連携強化を図り包括ケアに注力してまいりました。

また、地域の他居宅介護支援事業所との合同勉強会や介護支援専門員実務研修受け入れを行うなど、地域の居宅介護支援の発展に力を入れてまいりました。

【4】施設の課題

令和4年度は、昨年度同様に新型コロナウイルス感染状況下での運営が続きました。

昨年の経験の活かし、感染症対策を行いながらの運営に取り組んでまいりましたが、入所サービスである介護老人保健施設、通いの在宅サービスである通所リハビリテーションともに影響が大きく、稼働率の目標を達成することができませんでした。

また地域との交流の機会を持つことができない状況が続き、介護老人保健施設として地域に貢献できなかつたことが悔やまれる1年となりました。

新型コロナウイルスに対する規制緩和が今後進んでいくことが予想されるなか、高齢者施設である我々は難しい対応が求められることとなります。

ご利用者の安全と安心を担保しながら、地域包括ケアの中核を担うべき施設として、ご家族を始め地域の期待にどのように応えていくかが大きな課題となると考えます。

【5】付表

(1) 行事

介護老人保健施設

月	行事名
4	誕生日会・調理レク・お花見弁当
5	端午の節句・誕生日会・調理レク・ケーキバイキング
6	誕生日会・調理レク・天ぷら行事
7	七夕祭り・誕生日会・調理レク・カレーバイキング
8	誕生日会・調理レク
9	敬老祝賀会・誕生日会・調理レク
10	ハロウィン・誕生日・調理レク・お好み焼き行事
11	寿司の日・誕生日・調理レク
12	クリスマス会・誕生日会・調理レク
1	元旦祭・誕生日会・調理レク・鍋の日
2	節分・誕生日会・調理レク
3	誕生日会・調理レク・ケーキバイキング

通所リハビリテーション

月	行事名
4	桜の会
5	端午の節句
6	おやつ行事
7	七夕祭
8	夏のつどい
9	敬老祝賀会
10	スポーツ大会
11	鍋行事
12	クリスマス会
1	新春行事
2	節分
3	ひな祭り

(2) 防災訓練

月	種 別	内 容
9	緊急連絡訓練	緊急時、全職員への通報訓練及び緊急動員を要請する訓練
1	消火器訓練	水消火器を使用して、火災発見から消火活動までの一連の流れを習得する訓練
2	地震訓練	大地震を想定して、利用者の安全を確保するための訓練
3	総合訓練	夜間を想定した通報訓練・消火訓練・避難誘導訓練（消防署立会い）

(3) 研修

月	内部研修	外部研修
4	プライバシー・倫理・令順守	
5	食中毒予防研修 認知症ケア研修	
6	接遇マナー研修	
7	事故防止研修	
8	身体拘束・高齢者虐待防止研修 感染症予防研修	認知症研修
9	非常災害対策研修	
10	腰痛予防研修	介護現場におけるリスクマネジメント ～ヒヤリハットと自己の減らし方～
11	接遇マナー研修	看取り研修・人権研修 成年後見制度研修 コミュニケーション能力研修
12		福祉用具選定研修 スーパービジョン研修 介護技術研修
1	事故防止研修	コミュニケーション能力研修 車椅子シーティング座位修正研修
2	褥瘡予防・感染症予防	成年後見制度研修
3	身体拘束・高齢者虐待予防研修	

【1】施設運営を振り返って

近隣の地域包括支援センター・居宅介護支援事業所との情報共有を行った事で入居者の紹介に繋がりました。

また、在宅サービス事業所には入居者の状態把握に注力を行い、状況を頻繁に伝える事で自立支援の継続を行い、施設環境の整備も順次行い、安心安全な生活ができる環境作りに取り組んだ結果、サービスの向上に繋がった1年でありました。

【2】数値目標と実績

事業名		稼働率等	収入達成率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠 点	目標	95.0%	100%	40.6%	63.4%	8.4%	△12.4%
	実績	93.0%	96.5%	38.4%	60.8%	8.9%	△8.1%

※償却費率は減価償却費から国庫補助金等特別積立金取崩額を引いた額が分子

【3】事業計画の実施状況

(1) 入居者の健康管理の実施状況

コロナ感染時期より健康診断、レントゲン撮影の延期を今年度は実施しました。栄養士による入居者残食管理を行ってメニューの変更を行い、健康管理に注力しました。

(2) 広報活動の強化の実施状況

新型コロナウイルス感染が施設内で発症したため、大きな行事もできず自治会との交流も縮小になり、外部への広報はできませんでした。

(3) 営業活動の範囲拡張の実施状況

西地区から東地区にある地域包括支援センター、居宅介護支援事業所への営業活動の継続、地域医療機関には入居申し込み書類の配布を行った結果、医療機関からの退院者数名が入居に繋がりました。

西地区には軽費老人ホームが少なく、費用面で高額ではないケアハウスへの申し込みが有りましたので、これからも引き続き営業活動をしてまいります。

(4) 改修計画の立案の実施状況

2階から4階の廊下の壁紙の張替えを行いました。今後は施設共有部分の改修計画と同時に、各居室の空調類も含めた立案計画の再検討が必要です。

【4】施設の課題

入居者の年齢が上がってきており、健康面・生活面での注力がより一層必要になってくる状況であります。

担当ケアマネジャーに介護度の見直し申請を促し、在宅サービスの利用を活用し安心安全な生活を過ごして頂くためには、一層職員のスキルが必要になります。

令和5年度はスキル向上の人材育成ができなかったことを振り返り、業務の見直しを行っていきます。

地域活動への参加も入居者への安全を考え見送りました。

今後、活動への参加も踏まえてできることを考え、実践して行く事が課題になると考えております。

【5】付表

(1) 行事

月	行事内容
4	誕生日会
5	端午の節句（菖蒲湯）・誕生日会
6	おやつ会・誕生日会
7	七夕祭り・おやつ会・誕生日会
8	誕生日会
9	敬老祝賀会・誕生日会
10	枚岡神社秋郷祭・誕生日会
11	誕生日会
12	クリスマス会・冬至（ゆず湯）・誕生日会
1	元旦祝賀会・七草がゆ・鏡開き・誕生日会
2	節分祭（豆まき）・誕生日会
3	ひな祭り・誕生日会

(2) 防災訓練

月	種別	訓練内容
6	総合訓練	昼間の時間帯を想定して、通報・消火・避難訓練 非常用放送設備などの確認及び使用方法を学ぶ訓練
6	総合訓練	入居者・職員が参加して、避難訓練・消火訓練
2	通報訓練	緊急連絡網を使用した通報訓練

(3) 研修

月	研修内容	参加職種
4	法人理念研修、身体拘束研修	介護員・栄養士
5	リスクマネジメント研修	栄養士
6	感染症・食中毒予防対策研修	栄養士
7	事故対策研修、身体拘束研修	介護員
8	人権研修	介護員
9	サービスマナー研修	介護員
10	リスクマネジメント研修、身体拘束研修	介護員
11	感染症対策研修	介護員
1	身体拘束研修	介護員
2	感染症対策研修	介護員
3	高齢者虐待防止研修	介護員

【1】施設運営を振り返って

(1)「拠点単位での黒字化・安定した経営の推進」

- ・ケアハウス、デイサービスとも目標稼働率を達成できず、また、水道光熱費や人件費の高騰により、事業費、人件費の上昇が免れず、収支バランスにおいて安定した経営を図ることはできませんでした。
- ・ケアハウスについては、上半期は、退居者6名に対し入居者3名であり退居者が入居者を上回りましたが、以前からの課題である、入退居時のタイムラグの解消、待機者へのアプローチ方法・手順の見直しにより、下半期は退居者6名に対し入居者8名となり入居者が退居者を上回りました。
- ・デイサービスについては、上半期は、以前からの画一的なサービスにより利用者ニーズを満たせなくなり、新規利用者の獲得が進みませんでした。下半期は、「リハサポ」、「センサー型重心システム」等を導入し、機能訓練体制を強化することで、新規利用者の獲得、個別機能訓練加算の算定につながりました。

(2)「地域になくてはならない施設を目指す」「地域貢献活動の推進」

- ・前年度に続きコロナ禍ではありましたが、感染状況を見ながら、少しずつ施設開放やボランティアの受け入れを行い、地域との関わりが戻りつつあります。
- ・ケアハウス入居者については、感染防止対策の徹底により、感染者を1人も出さず、安心して過ごして頂くことができました。
- ・地域住民向けにデイサービスのパンフレットを配布しましたが、近隣在住であっても、当施設についてご存じでない方が多かったので、今後も地域に向けた活動を推進します。

(3)「職員一人一人の創造力を育み、新たな事業展開を目指す」

- ・日々のミーティングや職員会議の中で自由に意見を出し合い、職員の新たな発想、創意工夫により、業務効率の改善、二重記録の廃止等に取り組みました。
- ・OJTやストレスマネジメントを推進し、管理者や先輩職員が現場の状況を把握し、相談や対応が十分なされるよう、積極的にコミュニケーションを図り、風通しのよい職場づくりに努めました。

【2】数値目標と実績

事業名		稼働率等	収入達成率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠 点	目標	—	100%	48.1%	45.9%	7.1%	△1.1%
	実績	—	85.9%	57.9%	56.4%	8.3%	△22.6%
ケアハウス	目標	93.0%	100%	39.7%	55.1%	6.0%	△0.8%
	実績	86.7%	95.1%	44.0%	60.3%	9.1%	△13.4%

通 所	目標	68.0%	100%	79.9%	20.2%	1.1%	△1.2%
	実績	37.0%	55.8%	135.7%	34.0%	4.1%	△73.8%
短時間通所	目標	50.0%	—	—	—	—	—
	実績	23.5%	—	—	—	—	—

※償却費率は減価償却費から国庫補助金等特別積立金取崩額を引いた額が分子

【3】事業計画の実施状況

(1) ケアハウス

ケアハウスでは、①稼働率目標の達成、②施設と入居者並びにそのご家族との関係強化、③地域のコミュニティーを目指すという3点を計画目標に掲げ、事業を進めてまいりました。

①について、稼働率目標は達成できませんでしたが、下半期に入り、以前からの課題である、入退居時のタイムラグ解消、待機者のアプローチ方法の見直しについて、具体的な改善策を講じ、入退居時の対応がスムーズ改善されたことで、稼働率は徐々に改善傾向にあります。

今回改善した点は、待機者リストの作成及び綿密な連絡等により、待機者の進捗状況をタイムリーに把握できるようにしたこと、日曜・祝日でも施設見学の対応ができる体制をつくったこと、施工業者と密に連携し、退居後の居室清掃、修理等をスムーズに行うようにしたこと、効率的・効果的な営業を展開し、待機者の増加につなげたことの以上になります。

②、③の2点については、新型コロナウイルスの影響が大きく、地域の集まり等が中止となり、施設側でも面会制限をかけるなどの対策をとっている中で、目標達成に向けた取り組みは実施困難となりました。

(2) 地域密着型デイサービス

稼働率向上について達成できませんでしたが、以前からの課題である、アクティビティ中心の考え方から、機能訓練重視の考え方へシフトチェンジし、機能訓練の提供体制を確立しました。

上半期は、以前からの画一的なサービスにより、利用者ニーズを満たせなくなり、新規利用者の獲得が進みませんでした。11月よりリハサポ、センサー型重心システム等の導入により、機能訓練体制を強化し、新規利用者の獲得が増加傾向にあります。

また、他の機能訓練特化型デイサービスとの差別化を図る為、「入浴・機能訓練・食事」を一体的かつ短時間でも提供できる体制を整備しました。

(3) 短時間デイサービス

稼働率の向上を目標に掲げていましたが、結果としては達成できませんでした。要因としては、週に1回という開催ペースや提供するプログラム内容に際立っ

た特徴がないこと、外部へのPR不足などがあげられるとみています。

【4】施設の課題

- ・拠点単位での黒字化・安定した経営を推進します。
ケアハウスについては、入退居の対応をスムーズに行い、目標稼働率の達成、収入の安定化を図ります。
デイサービスについては、とりわけ軽度者のニーズ把握を実施しつつ、リハサポ以外に、新たなサービスを展開します。また、支出においても、人件費の適正化、経費削減に繋がる切り口を模索し、収支バランスの適正化を図ります。
- ・入居者、利用者の人権の擁護、虐待の防止等の為、必要な体制整備、職員に研修を実施します。
- ・5類移行後の新型コロナ感染者への対応、協力医療機関との連携、施設内療養に関する具体的な取り組みを推進します。
- ・OJT、ストレスマネジメントにより、管理者や先輩職員が現場の状況を把握し、相談や対応が十分なされるよう、積極的にコミュニケーションを図り、風通しのよい職場づくりに努めます。

【5】付表

(1) 行事

ケアハウス

月	行事名
4	お花見ドライブ・花見会（屋上）
5	おやつレク（たい焼き）、バーベキュー大会（3階・4階）
6	バーベキュー大会（2階・5階）、衣類訪問販売
7	おやつレク（ミニゼリーパフェ）
8	おやつレク（かき氷）
9	敬老祝賀会
10	喜里川秋祭り、衣料販売会
11	文化祭
12	クリスマス会
1	元旦祭、鏡開き、おやつレク（焼き芋）
2	おやつレク（台湾カステラ）
3	ひな祭り、おやつレク（いちご大福）

地域密着型サービス

月	行事名
4	花見ドライブ
5	石切参拝
6	買い物ツアー
7	夏祭り
8	ボーリング大会
9	敬老祝賀会
10	買い物ツアー
11	文化祭
12	クリスマス会
1	新春ボーリング大会・焼き芋大会
2	節分祭
3	ひな祭り

(2) 防災訓練

月	訓練内容
8	避難訓練（座学による火災発生時の避難方法）
12	防災啓発講習
3	緊急連絡網を使用した通報訓練

(3) 研修

月	研修内容
4	介護保険研修
5	認知症勉強会
6	新型コロナ感染防止訓練
7	サービスマナー研修
8	新型コロナ感染症研修
9	人権研修

1 0	栄養学研修（色と食の関係）
1 1	介護保険研修
1 2	個人情報保護研修
1	高齢者虐待防止研修
2	身体拘束廃止研修
3	事故対策防止研修

【1】施設運営を振り返って

地域密着型サービスとして、コロナで制限されていた活用も随時再開できており、地域のサロンや催し、地域清掃、会議（医療介護推進協議会等）にも積極的に参加することができました。

収支の目標であった黒字化は達成する事ができませんでした。

小規模多機能ホーム、デイサービス共に、要介護3以上の利用者や、勤務調整にてニーズの高い時間帯の受け入れは積極的に受け入れることができましたが、新規利用者数全体では少なく、目標稼働率には届きませんでした。

研修や目標管理での人材育成は、パート職員は勤務時間の調整が難しく、一部にとどまりましたが、正職員はほぼ予定通りに進めることができました。

【2】数値目標と実績

事業名		稼働率等	収入達成率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠 点	目標	—	100%	85.0%	15.7%	15.2%	△15.9%
	実績	—	84.3%	102.2%	16.3%	22.5%	△41.1%
小多機	目標	79.0%	100%	84.1%	16.4%	15.0%	△15.5%
	実績	62.6%	92.6%	92.6%	16.0%	22.1%	△30.7%
認知通所	目標	71.0%	100%	86.4%	13.0%	15.3%	△14.7%
	実績	49.7%	69.9%	124.0%	16.8%	23.5%	△64.3%

※償却費率は減価償却費から国庫補助金等特別積立金取崩額を引いた額が分子

【3】事業計画の実施状況

(1) 小規模多機能型居宅介護

①要介護3以上の利用者も増え、重度化にも対応しました。ニーズの多い早朝や夕食後には、人員配置の組み換え等を行い、受け入れることができました。

ただ、要介護3以上の重度の利用者を積極的に受け入れられた反面、登録者数が減少したことで、収入が減少してしまいましたので、新規登録者の増加に努めます。

②パート職員が多いことを生かし、人手のいる時間に多く配置する等、適正な人員配置に努めました。

③介護支援専門員を雇い入れることができ、管理者との兼務の解消、受け入れ窓口を広げることができました。

④早朝、夜間のニーズに比べ、訪問のニーズは少なかった為、訪問サービスは増えませんでした。

自費のリハビリデイや訪問看護、医療保険の訪問マッサージ等、ニーズあった

サービスの提供を今後も続けてまいります。

(2) 認知症対応型通所介護

- ①認知症ケアの理念に基づきながら人材育成に取り組んで参りましたが、「チームワーク」の協調性の部分に関しましてはやや欠けている部分がありました。今後は他の職員の「仕事内容の把握」や「役割」を実践することで職員同士の理解を深め、協調性を養うことでチームワークを高めていけるように努めて参ります。
- ②「家族会」を開催することはできませんでしたが、ご家族に「介護負担の測定について」のアンケートを実施することで介護負担の尺度を知り、その情報をケアマネジャーと共有することができました。今後はご家族の介護負担感を整理し支援に結びつけていながら「家族会」を実施できるように努めていきます。
- ③職員の人員が減ってしまったことと新型コロナウイルスの影響で生活機能向上連携加算（I）の取得はできませんでした。今後は現状の人員体制で取り組みやすい加算の取得（科学的介護推進体制加算）に努めていきます。

【4】施設の課題

収益の安定化、収支の黒字化を達成できなかったことが、一番の課題です。

重度の利用者受け入れで要介護度は上がってきていますが、入院や入所での利用中止者を、新規利用者が上回るできませんでした。

コロナ感染拡大で9月にデイサービスの営業を3日間休止した影響も大きかったです。

コロナも落ち着き、様々な制限も無くなってきていますので、電話やFAXだけでなく、訪問や来所していただくなどの取り組みも積極的に行ってまいります。

また、生活機能向上連携加算や科学的介護推進体制加算の取得の他、職員の配置状況、資格状況を随時チェックし、サービス提供強化加算の取得も漏らさず取得していきます。

地域支援活動は、コロナ禍でも行ってきた地域清掃、御領サロンへの参画などは継続するとともに、認知症サロン、元気でまっせ体操、介護フェスティバルへの参加など、できる所から再開していけるように努めていきます。

【5】付表

(1) 年間行事

	小規模多機能	認知症対応型通所
月	内 容	内 容
4	花見・和菓子	花見ドライブ
5	焼きそば・焼肉パーティー	お花の会
6	おやつパーティー	
7	七夕祭	
8	夏祭り	夏祭り
9	敬老祝賀会	敬老祝賀会（新型コロナウイルス感染症が蔓延のため中止）
10	運動会	
11	秋の味覚食事会	お楽しみ昼食会
12	クリスマス会	クリスマス会
1	初詣・ぜんざい	
2	節分	節分祭
3	ひな祭り	ひな祭り
該当	○利用者様お誕生会	○利用者様お誕生会

※御領お楽しみサロンは5回開催

※月1回ドックセラピーを開催

※認知症対応型通所介護の空白部分は集団レクリエーションや おやつレクなどを実施しています。

(2) 防災訓練

月	内 容	
4	防災訓練 (緊急連絡網)	非常災害時を想定した職員の緊急連絡網の訓練を行った。
5	総合訓練 (消防署員立ち合い)	緊急事態宣言の為消防署の立ち合いは中止。事業所のみで避難経路の確認、消火器の使用
8	消火訓練、避難訓練 (夜間帯想定)	小規模多機能(1F)の夜勤帯の火災を想定した訓練。消防隊が到着するまでの間、職員がす
10	防災訓練	非常災害時を想定した消火・避難・通報訓練を利用者様と職員で実施した。

(3) 研修

小規模多機能・認知症対応型通所

月	内 容
4	
5	リスクマネジメント研修
6	身体拘束に関する研修
7	
8	リスクマネジメント研修
9	
10	高齢者虐待の理解と防止
11	
12	不適切ケアから考える虐待防止
1	認知症介護基礎研修
2	口腔ケアに関する研修会
3	

※上記はリモート研修か、内部・外部研修となっている。

【1】施設運営を振り返って

コロナ禍の中、サービスの透明性やサービスの質が下がらないよう『すいれん』では4つの方針目標を定め、すいれん内にある介護老人保健施設・通所リハビリテーション・居宅介護支援事業所が共同して取り組みました。

- (1) コロナ禍でも外部の方にサービスの透明性を確保する為、毎月の広報誌発行に加えブログによる発信回数を増やしました。

また、施設前の掲示板には施設ブログへアクセスしやすいようQRコードを掲載しました。

- (2) イベントの充実や職員教育を図り利用満足度を向上するよう取り組みました。コロナ禍という事もあり外出が困難な事を考慮し、行事の際にはおやつ等も工夫して提供させて頂きました。

職員教育については、新型コロナウイルス感染症により、人手不足が目立ち研修時間を設ける事が困難であった為、研修動画を作成し少しの時間でも研修を受けられる体制作りを行いました。

- (3) NAS（施設内ファイル共有システム）をより活用できるよう、各種記録関係の電子化をすすめ、2重の業務などの見直しを行い、業務の円滑化と業務改善を行いました。

- (4) 介護老人保健施設や通所リハビリテーション、居宅介護支援事業所が連携し、利用者だけでなく、保健・医療・福祉機関などとも協力し、地域と一体となったケアに取り組みましたが、すいれんの事業所間では新規利用者の紹介や切れ目のない支援を行う事が出来たものの、地域の居宅介護支援事業所との関係が構築できていないため、新規利用者の獲得による稼働向上には繋がりませんでした。

収支の安定化については新型コロナウイルスによるクラスターや新規獲得が少なかった事もあり稼働率は目標を達成できませんでしたが、加算取得と入退所を意識して取り組んだ事で収支の目標は達成出来た結果となっています。

また、新型コロナウイルス感染により自宅待機や自宅療養により職員の人手不足も目立ち、様々なサービスに影響が出た為、新規採用に力を入れましたが人員確保が難しく、安定したサービスを行えるまでの人員採用には至りませんでした。

介護老人保健施設につきましては、新型コロナウイルスの影響により周辺の特別養護老人ホームや有料老人ホームに空きが目立ち、希望されていた方の退所が多く見られた事と持病の悪化による入院で5月より稼働が大きく低下しました。

8月から9月にかけて地域の居宅介護支援事業所からの紹介が多くあり、稼働向上となったものの、9月下旬から施設内で新型コロナウイルスが蔓延し、新型コロ

ナウイルスへの感染や通常診療の受診制限が発生した事による病状の悪化等により、入院者が出てしまった事と、年末・年始には自宅で過ごさせてあげたいという意向により自宅へ退所された方が多く見られたため、年末にかけて稼働低下となりました。

稼働向上に努めましたが、持病の悪化による入院者が多く、稼働向上に繋がらず稼働目標は達成出来ませんでした。

退所者の内訳では、入院者が約61%に対し在宅復帰率が約23%、特養等の介護施設への入所が約15%といった形になっており、今後、入院者の減少及び居宅介護支援事業所からの新規紹介、在宅復帰者からのリピート利用が稼働の安定と在宅強化型老健移行への課題だと考えています。

通所リハビリテーションについては、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の様々な制限の中ではありましたが、行事や集団でのレクリエーション等については感染対策を行った上で実施する事が出来ました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響によりサービスを自粛されるケース等があり、目標稼働率は未達成となっています。

新規利用者獲得については、居宅介護支援事業所等から随時紹介していただき、目標稼働には到達していませんが、定期的に空き状況の連絡や感染症対策の取り組みをPRすることによって、ご利用者の紹介をして頂きました。

職員の入れ替わりが多く、人材の不安定さがある中で、体制の構築なども少しずつ行なうことが出来ました。

居宅介護支援事業所につきましては、地域包括支援センターからの紹介を中心に、各機関や本体施設からも相談を頂けるなど、地域に密着した運営ができましたが、計画は未達成となっています。

今後は、地域性などを理解し適正な運営ができるように努めていきます。

人件費率につきましては、稼働の向上に伴い人材確保を行ってまいりましたが、計画通りに行えておりません。

今後も積極的な人材確保を行い、育成に努めてまいります。

経費率につきましては、稼働率が未達になった事による減少と、光熱費の値上げや感染症対策等にかかる支出増もあり、今後は必要な経費も踏まえて見直しを行ってまいります。

コロナに対する感染症対策に関する支出につきましては、助成金の申請も行っておりますし、その他の費用につきましてもコスト削減に努めてまいります。

【2】数値目標と実績

事業名		稼働率等	収入達成率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠 点	目標	—	100%	60.0%	27.9%	13.5%	△1.4%
	実績	—	100.7%	56.8%	25.3%	12.9%	5.0%
老 健	目標	94.0%	100%	57.3%	29.8%	13.9%	△1.0%
	実績	89.5%	100.6%	54.0%	27.2%	13.4%	5.4%
通 所	目標	65.0%	100%	70.0%	21.0%	13.5%	△4.5%
	実績	59.3%	101.5%	67.1%	17.9%	12.4%	2.6%
居 宅 (介護)	目標	1,050件	100%	90.0%	6.9%	4.1%	△1.0%
	実績	1,052件	100.8%	87.5%	4.9%	4.3%	3.3%
居 宅 (予防)	目標	570件	—	—	—	—	—
	実績	502件	—	—	—	—	—

※償却費率は減価償却費から国庫補助金等特別積立金取崩額を引いた額が分子

【3】事業計画の実施状況

(1) 施設拠点について

新型コロナウイルスの影響により予定していた地域貢献活動や区民祭りへの出店、各関係機関への研修・会議への参加等が難しくなり、拠点での積極的な活動はできませんでした。

(2) 介護老人保健施設

- ①ブログや広報誌を通して、積極的に施設内で提供するサービスを発信しましたが、目標発信回数には満たなかった事もあり、外部の方に対してサービスの透明性は不十分だったため、今後もサービス内容を可視化し透明性のあるサービス提供を目指します。
- ②入所者参加型の施設内行事を増やしてイベントの充実を図るとともに、職員教育にも力を入れ、サービスの質の向上を図りました。
参加型の行事ではおやつのコラボレーションをご自身で選んで行ってもらうなど、参加された方からも好評でした。
職員教育については職員不足による研修時間を設ける事が難しくなっていた中、研修用動画を作成した事でいつでも一人でも受講出来る体制を作りました。また、研修後の振り返りアンケートを行い、研修の内容が理解されているのか確認しサービス向上につなげております。
- ③記録関係の電子化を推進し、伝達事項をスムーズに行えるよう記録データを整備し、重複する記載を無くす等、業務改善に取り組みました。
記録関係については主に記録の電子化に取り組み、電子化によって紙媒体がなくても施設内の情報共有システムを使用し何処でも内容を開覧可能になった

事で、業務効率が向上しました。

- ④すいれん在宅サービスや地域の関係機関と連携し在宅復帰率の向上を目指しました。在宅復帰後の不安を聞き取り、様々な提案を行う事で前年度に比べ約3%の在宅復帰率の向上となっています。
- ⑤地域の居宅介護支援事業所と関係性を深め、地域が必要としている老健としての役割を分析できるよう、紹介のあった居宅介護支援事業所との関係が希薄にならないよう継続して施設の案内や居宅からの情報交換を行い少しずつではありますが、居宅介護支援事業所からの新規獲得が増えています。

(2) 通所リハビリテーション

- ①身体状況に合わせた運動プログラムを実施しご利用者、ご家族、ケアマネジャーにもその効果を見える化し、より実感して頂くため、利用状況や運動機能等を月ごとに比較出来る用紙を作成してお伝えする事ができました。
- ②内部研修、外部研修への参加を行い、事業所内での伝達研修も行いましたが、職員の入れ替わりが多く、参加、実施の頻度は少なくなっていました。日々、動画配信サービス等も活用し、専門的な知識の習得に努めることを実施しておりますが、新しい職員が多く、サービスの質の安定的な向上には至っていません。
- ③広報誌やブログの活用を定期的に行い、外部への発信は継続して行えました。利用時間や回数の見直しも随時行い、ご利用者、ご家族、ケアマネジャーへ提案を行い、調整を実施しました。
すいれん居宅介護支援事業所、本体施設と連携し在宅復帰者のサービス利用や、老健入所についての円滑な連携も行えました。
- ④ソーシャルディスタンスを意識した個別の機能訓練を実施しました。
職員へ感染症対策について周知を行ない、感染症について水際で予防できるように、ご利用者が施設到着時に体調確認、必要に応じて抗原検査等を行ないました。

(3) 居宅介護支援事業所一

- ①感染症の予断を許さない状況が続いていましたが、リモートでの会議、研修など積極的に参加する事ができました。
また、困難ケースの受入れなどを行い、地域に貢献する事で、地域と良好な関係性が築けました。
- ②特定事業所加算を算定する事となり、改めて主任介護支援専門員の役割について再確認するなど個々のスキルアップが図れました。
- ③介護老人保健施設と連携を図り10件の入所相談、在宅復帰等の支援が行えました。

【4】施設の課題

安定した人材確保が困難であり、職員育成に必要な時間の確保が困難な事や、サービス内容を充実させるためにも、人材が確保出来るよう採用活動を積極的に行う必要があります。

専門職として業務が何を根拠に行うべきなのか十分な理解を得る事で、対応力の向上を目的として、役職者だけでなく中堅職員以上は自主点検表や運営基準等の各種法令への理解を深める事を目的に、まずは自主点検表のチェックを役職者が行うのではなく中堅職員が行うように取り組んでいきたいと考えています。

在宅復帰率の向上を目的にリピーター利用の方を積極的に受け入れ調整してまいりましたが、施設生活を望まれず再入所しようとされない事が複数の事例として見られたため、施設生活での生活支援の在り方を見直す必要が出ており、各職種が集まり施設生活が有意義になるよう検討していく予定です。

【5】付表

(1) 年間行事

老人保健施設		通所リハビリテーション	
月	内 容	月	内 容
4	お花見散歩 誕生会	4	花見気分を味わおう！ 誕生会
5	端午の節句 季節湯 誕生会	5	端午の節句 誕生会
6	パフェ作り 誕生会	6	すいれんオリンピック 誕生会
7	七夕会 誕生会	7	七夕祭り 誕生会
8	夏祭り かき氷 誕生会	8	夏祭り 誕生会
9	敬老祝賀会（中止） 誕生会	9	敬老祝賀会 誕生会
10	運動会 誕生会	10	ハロウィンパーティー 誕生会
11	書道 誕生会	11	温泉行事 誕生会
12	クリスマス会 誕生会	12	クリスマス会 誕生会
1	元旦祝賀会（中止）誕生会	1	書初め 誕生会
2	節分祭り 誕生会	2	節分 誕生会
3	桃の節句 季節湯 誕生会	3	ひな祭り 誕生会

(2) 防災訓練

月	種別	内容
5	基礎訓練	新人職員を対象とした、施設の防災機器・器具の場所及び取り扱い方法等を周知行う。
8	消火訓練 合同防災訓練	消防署職員立会の元、水消火器を用いた防災訓練と、夜間想定消防訓練を実施。火災時の対応等についての訓練を行った。
1	教養型訓練	消火器訓練・避難訓練・通報訓練の動画を全職員視聴行う

(3) 年間集団リハビリ

介護老人保険施設

内容：今日は何の日 脳トレ 手遊び 全身体操 深呼吸

月	実施日 (参加人数)
4	6 (24)・13 (33)・20 (17)・27 (31)
5	4 (33)
6	1 (27)・8 (25)・15 (38)・22 (29)
7	15 (4)
8	感染対策のため中止
9	感染対策のため中止
10	感染対策のため中止
11	2 (16)・4 (15)・10 (18)・15 (17)・16 (15)・ 23 (35)・25 (6)・29 (19)・30 (17)
12	7 (15)・9 (10)・14 (21)・19 (21)・26 (16)
1	16 (16)・18 (9)・19 (9)・23 (18)・24 (9)・ 25 (7)
2	7 (18)・8 (7)・15 (11)・20 (33)・27 (39)
3	8 (28)・15 (26)・16 (9)・23 (48)・29 (49)

(4) 研修

介護老人保健施設

月	内部研修内容
4	・感染症対策研修（手指消毒・手袋装着実施研修）・新職員研修
5	・感染症対策研修（手指消毒・手袋装着実施研修） ・高齢者のバイタル測定について（看取り委員会）
6	・食中毒について ・感染症対応強化訓練
7	・事故後の受診時の対応について（高齢者安全対策委員会） ・看取り介護を実際に行うにあたって（看取り委員会）
8	・認知症研修（身体拘束廃止委員会）
9	・認知症研修（身体拘束廃止委員会） ・褥瘡ケア研修
10	・褥瘡ケア研修
11	・嘔吐処理の研修（感染症対策委員会）
12	・嘔吐処理の研修（感染症対策委員会） ・危険予知訓練（高齢者安全対策委員会）
1	・高齢者虐待研修（身体拘束廃止委員会） ・危険予知訓練（高齢者安全対策委員会）
2	・事例検討研修・高齢者虐待研修（身体拘束廃止委員会） ・終末期研修 看取りケアを考える（看取り委員会）
3	・苦情対応研修（苦情対策委員会）

月	外部研修内容
4	・ストレスマネジメント
6	・令和4年度介護事業者等集団指導(WEB)・鶴見区食育推進連絡会
8	・臨床実習指導者講習会
10	・老健での看取り ・終末期ケアコース ・人生最終段階まで支援する施設になる
11	・個人情報保護研修 ・介護職員接遇研修 ・経営改善基礎講座 ・飲料水衛生管理講習会 ・特定給食講演会 ・臨床実習指導者講習会
12	・不適切ケアから考える虐待防止 ・日本環境感染学会関西中国ブロック研修会
1	・口腔ケア研修
3	・介護事業者のためのBCP作成セミナー ・支援相談員研修会

通所リハビリテーション

月	内部研修内容
4	・感染症対策研修（手指消毒・手袋装着実施研修）
5	・感染症対策研修（手指消毒・手袋装着実施研修）
6	・感染症対応強化訓練
8	・介護技術認知症基礎研修
11	・嘔吐処理の研修（感染症対策委員会）
12	・個人情報保護研修 ・人権研修
1	・虐待の芽チェックシート（高齢者虐待防止委員会） ・事故防止リスクマネジメント研修
3	・褥瘡予防研修

月	外部研修内容
9	・身体拘束研修
11	・安全運転者講習会
12	・認知症サポーター養成講座 ・人権研修

居宅介護支援事業所

月	内部研修内容
4	・施設内研修 手洗い方法・使い捨て手袋の外し方（感染症対策委員会）
6	・施設内研修 食中毒について（給食委員会）
7	・法人内研修 『本当に理解していますか？アルコール依存症』 （地域保活支援センターみのわの里）
9	・施設内研修 『認知症の方に対する接し方』（高齢者虐待防止委員会）
11	・法人内研修 個人情報保護（みのわの里）
12	・法人内研修 人権研修（みのわの里）
1	・施設内研修 虐待の芽チェックシート（高齢者虐待防止委員会）
3	・施設内研修 苦情対応研修（苦情対策委員会）

月	外部研修内容
4	・鶴見区自立支援型ケアマネジメント小会議（リモート会議） ・初めてでもできるBCPの作り方～自然災害編～（アーカイブ動画視聴）
5	・自然な笑顔の職場づくり術 3つのポイント（オンラインセミナー） ・鶴見区自立支援型ケアマネジメント小会議（リモート会議）

6	<ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメント対策セミナー（オンラインセミナー） ・令和4年度介護事業者等集団指導（オンライン指導） <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護での緩和ケア（オンライン研修） ・ケアプランチェック（大東市地域包括主催）
7	<ul style="list-style-type: none"> ・「世代間のコミュニケーションのギャップが埋まる！ みんなが笑顔で働けるコミュニケーションの秘訣」（オンラインセミナー） ・鶴見区自立支援型ケアマネジメント小会議（リモート会議）
8	<ul style="list-style-type: none"> ・BCP作成支援に関する研修（オンデマンド配信） <ul style="list-style-type: none"> ・薬から考える緩和治療（オンライン研修） ・鶴見区自立支援型ケアマネジメント小会議（リモート会議）
9	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴見区自立支援型ケアマネジメント小会議（事例提出） <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 第1回ケアネット研修会
10	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケア 看護師編（オンライン研修） ・鶴見区自立支援型ケアマネジメント小会議（リモート会議） ・70分で分かる！人材不足に陥らない育成・定着のコツ（オンライン研修）
11	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴見区自立支援型ケアマネジメント小会議（リモート会議） <ul style="list-style-type: none"> ・円滑なコミュニケーションの秘訣は？（WEBセミナー）
12	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケア ST編（オンライン研修）
2	<ul style="list-style-type: none"> ・認定調査員現任研修 ・鶴見区自立支援型ケアマネジメント小会議（リモート会議）
3	<ul style="list-style-type: none"> ・介護BCP作成セミナー（web開催） ・鶴見区自立支援型ケアマネジメント小会議（リモート会議） <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 第2回 鶴見区ケアネット研修会

【1】施設運営を振り返って

加算取得等により拠点としての採算が取れるよう経営の安定化を目指して運営を実施致しましたが、法人の方針として令和4年5月16日よりケアフル布施居宅介護支援事業所を老人保健施設長田の里の居宅介護支援事業所へ統合。

また、訪問介護事業の稼働状況において低下傾向が継続。

加えてヘルパーの人員の減少などにより業績が低下。

法人内の他の訪問介護事業所においても人員確保等の諸問題により、令和4年7月15日の理事会において、令和4年3月末日をもってみのわの里ヘルパーステーションに事業統合されることが承認されるに至りました。

決定以降は通常の事業運営を継続しつつ、事業統合に関する準備を進め、関係機関・ご利用者への連絡、調整等を行い、令和5年3月末日をもって基本全てのご利用者をみのわの里ヘルパーステーションへ移管致しております。

【2】数値目標と実績

事業名		訪問件数	収入達成率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠 点	目標	-	100%	92.1%	7.6%	1.1%	△0.8%
	実績	-	74.6%	100.8%	7.2%	1.0%	△9.0%
訪問介護	目標	8544 件	100%	115.6%	11.8%	1.5%	△28.9%
	実績	6185 件	64.4%	153.2%	11.7%	1.8%	△66.7%
障害福祉	目標	13560 件	100%	68.8%	3.5%	0.2%	27.5%
	実績	10692 件	122.0%	61.0%	4.3%	0.5%	34.2%

※償却費は減価償却費から国庫補助金等特別積立金取崩額を引いた額が分子

【3】事業計画の実施状況

経営の安定化及び加算取得、職員の採用など全てにおいて結果を伴う事業展開は果たせておりません。

次年度以降についてはケアフル布施が唯一、障がい者支援について多くのご利用者に係わっていた事業所であったことから、それらのノウハウを法人内で活かせるよう、みのわの里ヘルパーステーションとして努力して参ります。

【1】令和4年度総括

「サービスの質の向上」「ご利用者満足」「職員の資質向上」を目的とした活動を推進するため、ご利用者の安心・満足のためのサービス提供について、各拠点のサービスが、それを担えているかどうかを検証し、定期的な効果測定、振り返りを通じて、その結果を次に活かせるよう、委員会として各拠点の後方支援を行いました。

【2】検討内容

具体的な後方支援の内容は以下のとおりです。

(1) ご利用者満足度アンケート

サービス内容の見直しとご利用者の満足度を把握するため、ご利用者に満足度アンケートを実施しました。

(2) 法人スローガン

法人全体が一体となり、サービス向上に取り組めるよう、半期ごとにスローガンを作成しました。

(3) 表彰・顕彰制度

法人内で、事業所の優れた取り組み内容を共有し、各拠点におけるサービスの質の向上や業務効率の改善に活かせるよう、「表彰顕彰制度」を実施しました。

(4) 第三者評価受審後の水平展開

特養3施設において、第三者評価受審後の水平展開について情報共有、課題整理を行いました。重点施策について継続的、集中的に協議するため、特養3施設長会議に移管となりました。

【3】令和5年度への課題

従来、サービス向上委員会を中心に「ご利用者満足度アンケート」「法人スローガン」「表彰・顕彰制度」「職員アンケート」に取り組んできましたが、それぞれの実施時期、内容について、年々、各拠点に定着しつつあることから、委員会としては、実施時期の呼びかけや集計作業を中心に、各拠点の後方支援を行ってきました。

次年度も、後方支援の立場から各拠点のサポートを行うと共に、サービス向上に係る課題解決について適宜組んでいきます。

また、業務改善の観点から、会議開催は適宜行うこととし、意見収集や集計作業についてはメール等を積極的に活用するなど、委員会活動の効率的な運用を目指します。

【1】令和4年度統括

(1) 新型コロナウイルス感染症対策につきましては、継続した各拠点からの感染状況の共有、法人本部長からの法人の統一した対応策の周知が行えました。

3月に、大阪府高齢者施設等クラスター対応強化チームと所轄保健所に来所いただき、今年度の感染予防対策の振り返りと今後の感染予防対策について意見交換会を開催しました。

各拠点から質問事項を受け付け、その返答と指導内容を各拠点に周知する取組を行い、感染予防対策の強化を行いました。

(2) 「ヒヤリ・ハット報告書」の活用の促進につきましては、検討することができませんでした。

【2】検討内容

ご利用者及びご家族への適切な支援に向け、第三者委員への苦情解決報告会を7月5日（火）長田の里での開催（令和3年下半期分）、12月は新型コロナウイルス感染症状況により書面開催（令和4年上半期分）を開催しました。

苦情は「宝」であり、他人事ではなく自分事として受け止め、より良いサービスが提供でき、ご利用者及びご家族が安全に安心して生活が送れるように、苦情報告会報告書を各拠点に配布し、周知するとともに、研修で活用するように推進しました。